ネットワークステレオレシーバー

TX-8050

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大
切に保管してください。

Made for
iPod iPhone

目次

主な特長

- ■ インターネットラジオ受信可能
- ■ Ethernet、USB 経由で MP3、WAV、WMA、MPEG4 AAC フォーマットの音楽ファイルを再生可能[*1]
- ■ iPod®/iPhone®[*2] や USB ストレージを接続できるフロント USB 端子装備
- ■ 圧縮された音楽ファイルを、より良い音で楽しむ Music Optimizer ™[*3] 機能搭載
- ■ 再生周波数の広帯域化を図る WRAT（Wide Range Amplifier Technology）搭載
- ■ メインルームで音楽を再生しながら別室で異なるソースを楽しめる Zone2（ゾーン2）機能搭載
- ■ もともとの音源のまま、ピュアな音を楽しむ「Direct」リスニングモードと、ノイズを最小限におさえ、本来の音を楽しむことのできる「Pure Audio」リスニングモード搭載
- ■ デジタル音声入力端子として、光 2 系統 / 同軸 2 系統装備
- ■ オンキヨー製 iPod[*2] ドック UP-A1 から入力できる UNIVERSAL PORT 端子装備
- ■ AM/FM 合わせて 40 局のプリセット可能
- ■ MM 型カートリッジ搭載のレコードプレーヤーを接続できるフォノイコライザー内蔵の PHONO 端子装備
- ■ ヘッドホン接続端子装備
- ■ 2.1 チャンネルプリアウト端子装備

[*1] DLNA、DLNA CERTIFIED は、Digital LivingNetwork Alliance の商標または登録商標です。

[*1] Microsoft、Windows、Windows Mobile、Windows Media、ActiveSync、DirectX および Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

[*2] Made for iPod iPhone

iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle 、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
「Made for iPod」、「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
この製品と iPod、iPhone を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。

[*3] Music Optimizer ™は、オンキヨー株式会社の商標です。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⊘記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- 押し入れや本棚など通気性の悪い狭い場所に設置して使用しない
  （本機の天面、横から20cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

■ETHERNETポートには電話回線を接続しない

禁止

本機のETHERNETポートに以下のネットワークや回線を接続すると、必要以上の電流が流れ、故障や火災の原因となります。

- 一般電話回線
- デジタル式構内交換機（PBX）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷きにならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警告

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて乾いた布でほこりを取り除いてください。

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔から異物を入れない
- 本機の上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■長時間大きな音で使用しない

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス+とマイナス−の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると火災感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグ本体を持って抜いてください。

⚠ 注意

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

本機の通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量を上げすぎない

禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

■ 機器内部の点検について

お客様の使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因とあることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

付属品

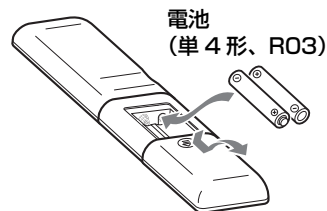
ご使用の前に、次の付属品がそろっていることをお確かめください。
(　)内の数字は数量を表しています。

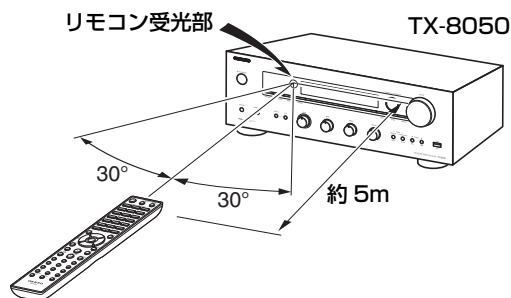
- リモコン（RC-816S）…（1）
- 乾電池（単４形、R03）…（2）
- FM 室内アンテナ …（1）
- AM ループアンテナ …（1）
- 取扱説明書（本書）…（1）
- 保証書 …（1）
- オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内 …（1）
- ユーザー登録カード …（1）

カタログおよび包装箱などに表示されている、各型の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

乾電池を入れる

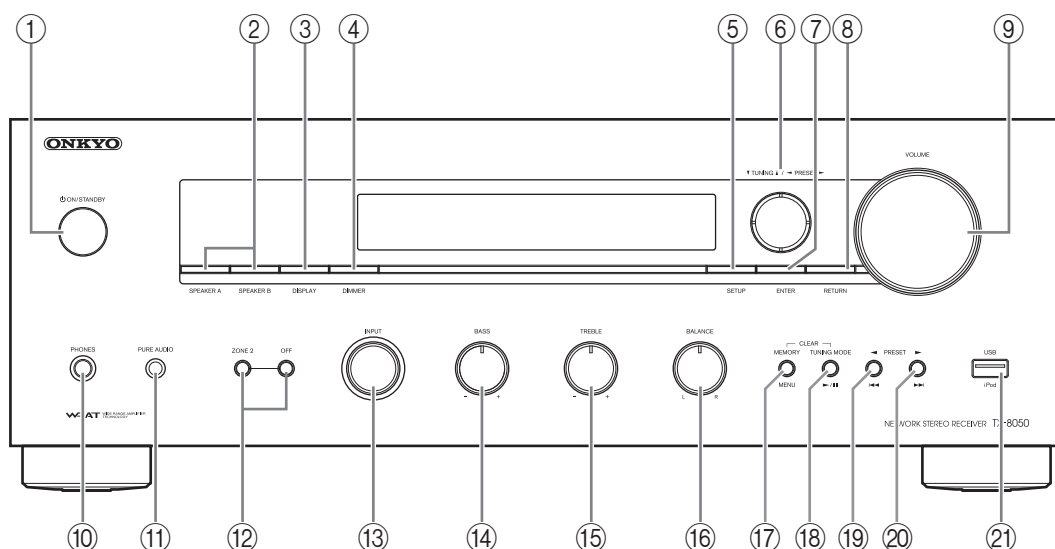
ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために、電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと、腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して、２本とも新しい電池と交換してください。

リモコンの使いかた

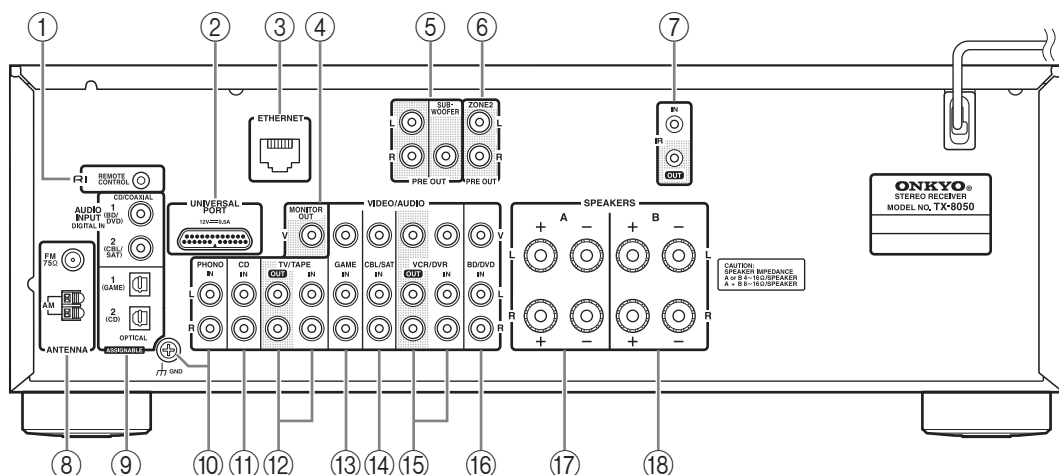
リモコンを本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

前面パネルと後面パネル

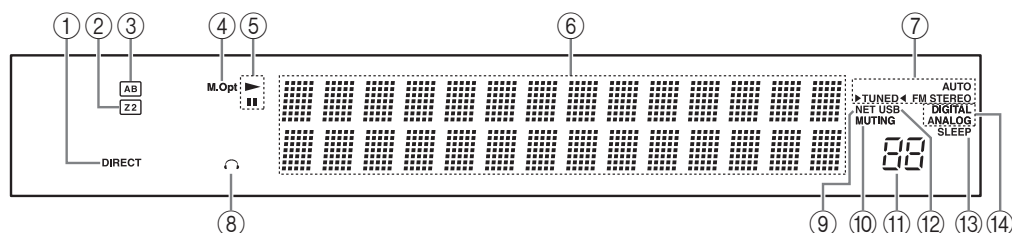
前面パネル

詳細については、( )内のページをご覧ください。

① ON/STANDBY ボタン(19, 50, 51, 53)
② SPEAKER A、B スイッチ(20)
③ DISPLAY ボタン
④ DIMMER ボタン(21)
⑤ SETUP ボタン(13, 42)
⑥ TUNING▲▼ PRESET◄► ボタン(13, 25, 27, 42)
⑦ ENTER ボタン(13, 42)
⑧ RETURN ボタン(13)
⑨ VOLUME コントロール(20)
⑩ PHONES ジャック(20)
⑪ PURE AUDIO ボタン(22)
⑫ ZONE 2、OFF ボタン(47)
⑬ INPUT セレクター(20, 23, 25)
⑭ BASS コントロール(21)
⑮ TREBLE コントロール(21)
⑯ BALANCE コントロール(21)
⑰ MEMORY/MENU ボタン(26)
⑱ TUNING MODE /►II ボタン(25, 27, 53)
⑲ PRESET ◄/I◄◄ ボタン(26)
⑳ PRESET ►/►►I ボタン(26)
㉑ USB ポート(28)

後面パネル

詳細については、( )内のページをご覧ください。

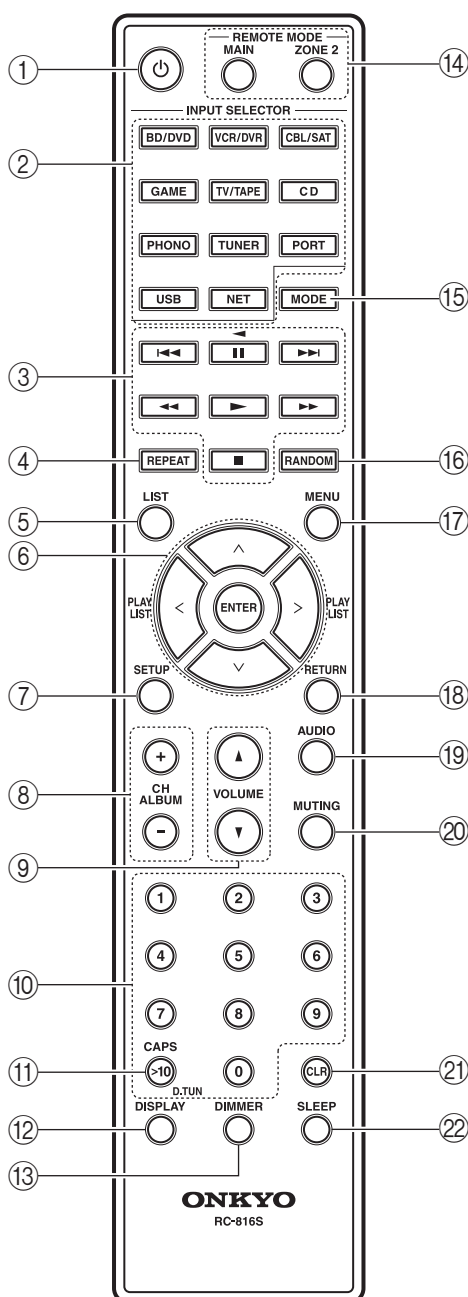
① REMOTE CONTROL 端子(17)
② UNIVERSAL PORT 端子(16)
③ ETHERNET 端子(16)
④ MONITOR OUT 端子(16)
⑤ PRE OUT 端子(12)
⑥ ZONE 2 PRE OUT 端子(46)
⑦ IR IN /OUT 端子
⑧ FM ANTENNA 、AM ANTENNA 端子(14)
⑨ DIGITAL IN COAXIAL / OPTICAL 端子(16)
⑩ PHONO IN (MM)、GND 端子(16)
⑪ CD IN 端子(16)
⑫ TV/TAPE IN/OUT 端子(16)
⑬ GAME IN 端子(16)
⑭ CBL/SAT IN 端子(16)
⑮ VCR/DVR IN/OUT 端子(16)
⑯ BD/DVD IN 端子(16)
⑰ SPEAKERS A 端子(20)
⑱ SPEAKERS B 端子(20)

接続については「接続をする」をご覧ください
(→ p.11 ～ 18)。

表示部

詳細については、(　)内のページをご覧ください。

① DIRECT 表示(22, 53)
② Z2(Zone 2)表示(47)
③ A/B スピーカー表示(20)
④ M.Opt 表示(22)
⑤ ►、II 表示
⑥ 多目的表示部
⑦ チューニング表示
- AUTO 表示(25)
- TUNED 表示(25)
- FM STEREO 表示(25)

⑧ ヘッドフォン表示
⑨ NET 表示(31)
⑩ MUTING 表示(53)
⑪ ボリュームレベル
⑫ USB 表示(28)
⑬ SLEEP 表示(21, 44)
⑭ 音声入力表示

リモコン

詳細については、(　)内のページをご覧ください。

① ⏻ ボタン(13, 19, 47)
② INPUT SELECTOR ボタン(19, 20, 24, 25, 40, 41, 47)
③ コントロールボタン(28, 40, 41)
④ REPEAT ボタン(28, 40, 41)
⑤ LIST ボタン(29, 30, 31)
⑥ </>/∧/∨、ENTERボタン(13, 25, 42, 46)
⑦ SETUP ボタン(13, 42, 46)
⑧ CH/ALBUM ボタン(27, 41)
⑨ VOLUME ▲/▼ ボタン(20, 48)
⑩ 数字ボタン(26, 41)
⑪ >10/CAPS/D.TUN ボタン(26, 27)
⑫ DISPLAY ボタン(27, 29, 30)
⑬ DIMMER ボタン(21)
⑭ REMOTE MODE ボタン(10, 47, 48, 53, 54)
⑮ MODE ボタン(28)
⑯ RANDOM ボタン(28, 40, 41)
⑰ MENU ボタン(40, 41)
⑱ RETURN ボタン(28, 31, 40, 41, 42)
⑲ AUDIO ボタン(22)
⑳ MUTING ボタン(20, 48)
㉑ CLR ボタン(27)
㉒ SLEEP ボタン(21)

Remote Mode ボタンの使い方

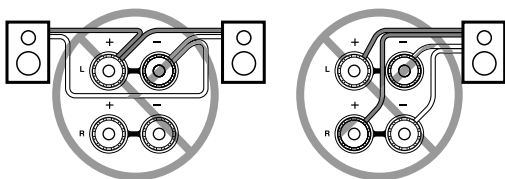
本リモコンは Zone 2 を使用する場合、Zone 2の機器もコントロールすることができます。Zone 2 の機器をコントロールするときは、REMOTE MODE の [ZONE 2] を押してから操作します。Zone 2 機器操作後にレシーバーを操作するときは、REMOTE MODE の [MAIN] を押してから操作します。
レシーバーに向けて操作しても動作しない場合、REMOTE MODE が ZONE 2 になっている可能性があります。REMOTE MODE の MAIN を押してから操作してください。一旦 REMOTE MODE の [MAIN] を押すと、操作のたびに REMOTE MODE の [MAIN] を押す必要はありません。そのままレシーバーを操作することができます。逆に一旦 [ZONE 2] を押して操作した場合は、そのまま Zone 2 機器を操作することができます。

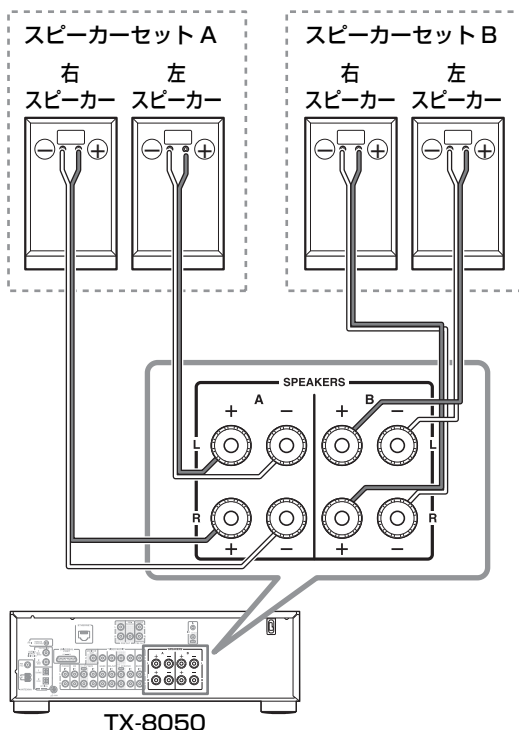
接続をする

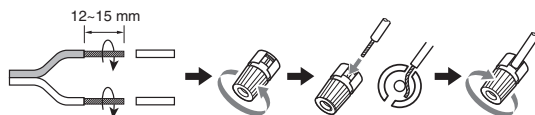
スピーカー接続時の注意事項

以下の注意事項をお読みいただいてから、スピーカーを接続してください。

- 本機には、インピーダンスが 4 ～ 16Ω のスピーカーを接続してください。インピーダンスが 4 ～ 16Ω のスピーカーを SPEAKERS A または B 端子に 1 セット接続して使用する場合は、インピーダンスを 4Ω または 6Ω(→ p. 13)に設定してください。インピーダンスが 4Ω 以上 6Ω 未満のスピーカーを接続するときは、インピーダンスを 4Ω(→ p. 13)に設定してください。小さいインピーダンスのスピーカーをお使いの場合、ボリュームを長時間に渡って大音量に設定して使用すると、内蔵されている保護回路が作動する場合があります。
- スピーカーを SPEAKERS A および B 端子に 2 セット接続して使用する場合は、インピーダンスが 8 ～ 16Ω のスピーカーを接続してください。また、インピーダンスは 4Ω(→ p. 13)に設定してください。
- 接続は電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
- スピーカーに添付の取扱説明書をご覧ください。
- 必ず、プラス(+)端子はプラス(+)端子と、マイナス(—)端子はマイナス(—)端子と接続するようにしてください。間違って接続すると、逆位相になり再生音が不自然になります。
- スピーカーコードが、必要以上に長かったり細かったりすると、音質に影響を与えることがあります。そのようなコードは使用しないでください。
- プラスのコードとマイナスのコードをショートさせないでください。故障の原因になります。

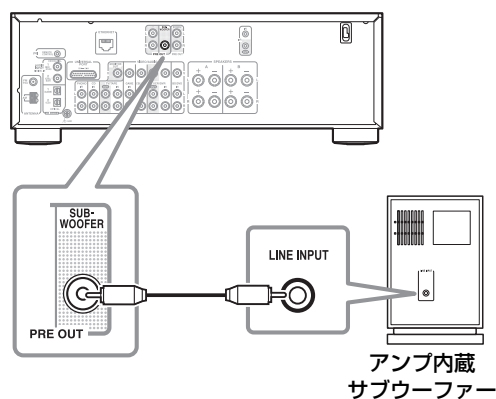
- コードの金属芯を本機の後面パネルと接触させないでください。故障の原因になります。
- スピーカー端子に 2 本以上のコードを接続しないでください。故障の原因になります。
- 1 台のスピーカーを複数の端子に接続しないでください。

スピーカーコードを接続する

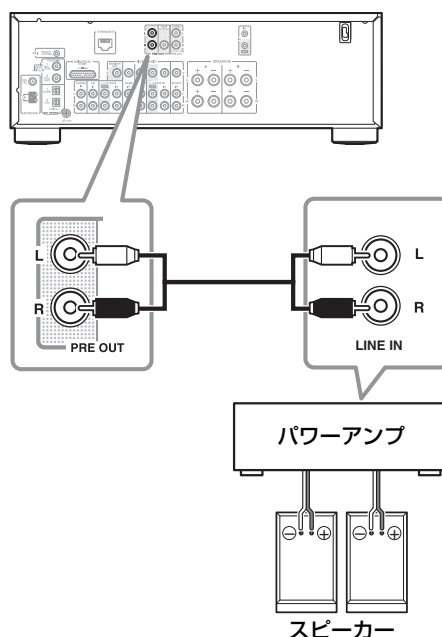
各スピーカーは下図のように接続します。

■ ネジ式スピーカー端子

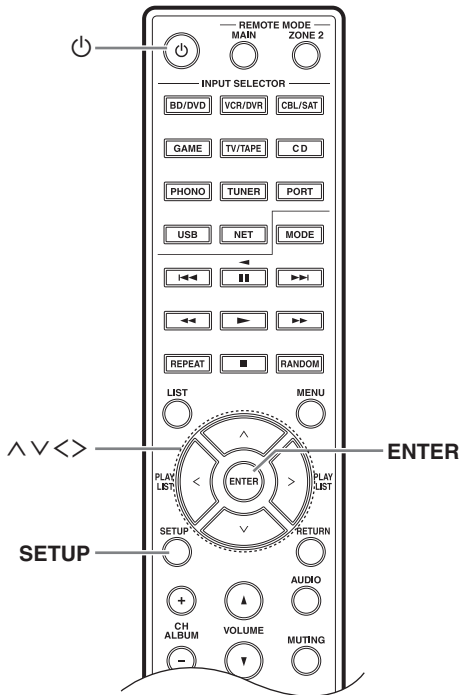
スピーカーコードの被覆を先端から 12 ～ 15mm 剥き、金属芯をしっかりよじります。

■ バナナプラグ

- スピーカー端子をしっかり締めてから、バナナプラグを挿入してください。
- スピーカーコードの芯線を、スピーカー端子のバナナプラグ用の穴に直接挿入しないでください。

パワーアンプ内蔵サブウーファーを使う

パワーアンプ内蔵サブウーファーを接続して使用できます。
本機の PRE OUT: SUBWOOFER 端子とパワーアンプ内蔵サブウーファーの LINE INPUT 端子を接続します。
ご使用のサブウーファーにアンプが内蔵されていない場合は、お手持ちのアンプ機器の入力端子にサブウーファーのプリアウト端子を接続して、ご使用ください。
詳しくは、サブウーファーに付属の取扱説明書をご覧ください。

パワーアンプを接続する

パワーアンプを本機に接続し、本機をプリアンプとして使用できます。本機だけでは出力できない、大音量で再生できるようになります。各スピーカーは、パワーアンプに接続してください。詳しくは、パワーアンプに添付の取扱説明書をご覧ください。

スピーカーインピーダンスの設定

本機は出荷時の設定で、スピーカーのインピーダンスは 6Ω に設定されています。
スピーカー接続状態によってインピーダンス（Ω）を設定します。詳しくは p.11「スピーカー接続時の注意事項」をご覧ください。
ご使用になるスピーカーの背面や、取扱説明書で、インピーダンス（Ω）をご確認ください。

ご注意
設定を行う前にボリュームを最小にしてください。

操作はリモコンで行います。

1 [⏻] ボタンを押す

2 [SETUP（セットアップ）] ボタンを押す

3 [∧] [∨] ボタンで「3. Hardware（ハードウェア） Setup（セットアップ）」を選択し、[ENTER（エンター）] ボタンを押す

4 [<] [>] ボタンで「4Ω」を選択する

5 [SETUP] ボタンを押し、設定を完了する

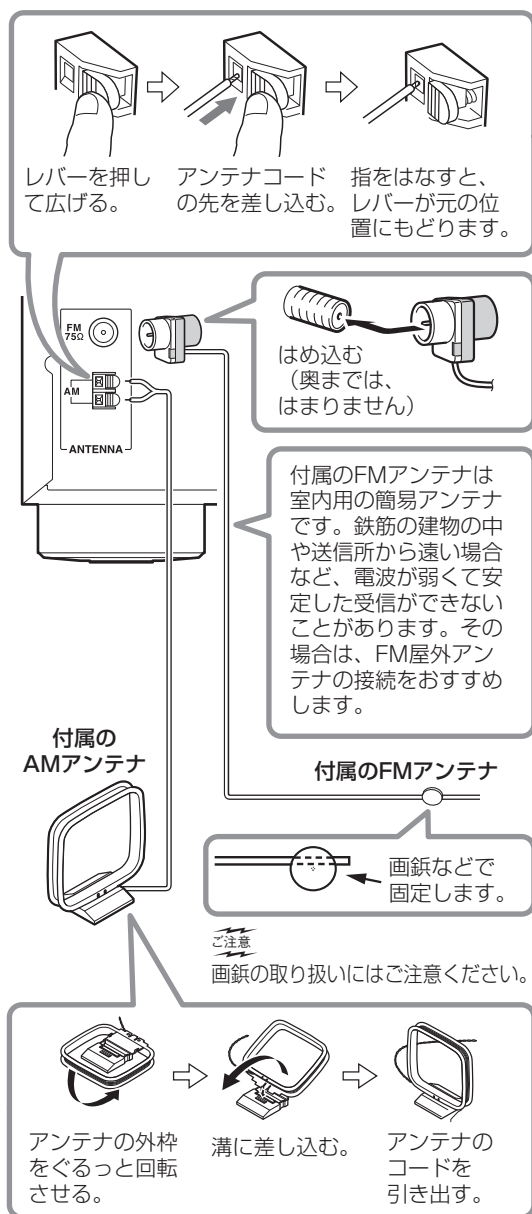
設定を出荷時の 6Ω に戻す場合は、同じ手順で設定しなおしてください。

ご注意
- 上記手順は、レシーバー本体の [SETUP]、TUNING[▲]/[▼]、PRESET[◄]/[►]、[ENTER] ボタンでも同様に操作できます。
- [RETURN] ボタンを押すと、前のメニューに戻ることができます。

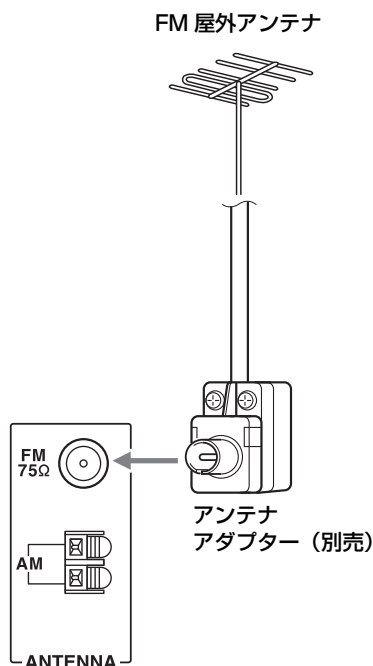
設定例：
SPEAKERS A または B 端子に接続したスピーカーセットを単独で使用する場合、スピーカーのインピーダンスが 4 ～ 6Ω 未満のときは 4Ω に設定し、6Ω 以上のときは 6Ω に設定します。
SPEAKERS A および B 端子に接続したスピーカーセットを両方とも使用する場合は、インピーダンスが 8 ～ 16Ω のスピーカーを使用し、4Ω に設定します。

ラジオのアンテナを接続する

付属の FM/AM アンテナを接続する

付属の FM/AM アンテナを接続します。
アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。(→ p. 25)

！ヒント

AM アンテナのコードは、分岐した先端を上下端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、左右や＋ / －などの区別はありません。）

FM 屋外アンテナを接続する

FM 屋外アンテナについて

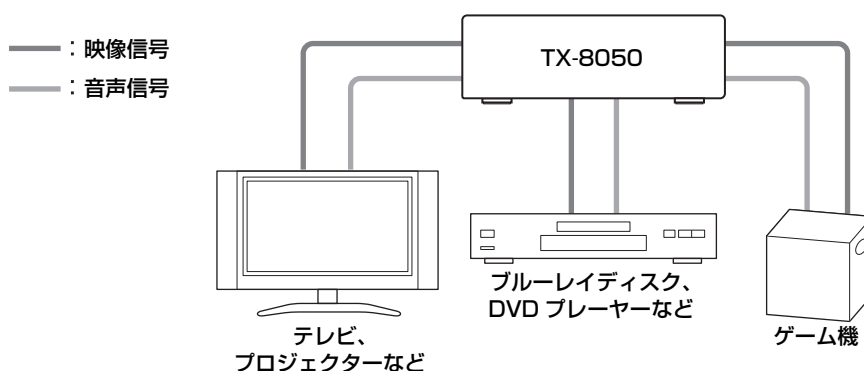
市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

ご注意

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 送電線の近くは危険ですので、絶対にアンテナを設置しないでください。

！ヒント

ケーブルテレビをご覧の方は、FM がテレビと同時に送られている場合がありますので、それを利用すれば安定した FM 受信が可能です。受信方法や周波数については、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

AV 機器との接続

- AV 機器の接続を行う場合は、AV 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電源コードは、すべての接続が完了するまでつながないでください。
- プラグは奥までしっかり押し込んでください（ノイズや誤動作の原因になります）。
- ケーブル同士の接触を防ぐため、映像・音声ケーブルや電源・スピーカーコードが接近しないようにしてください。

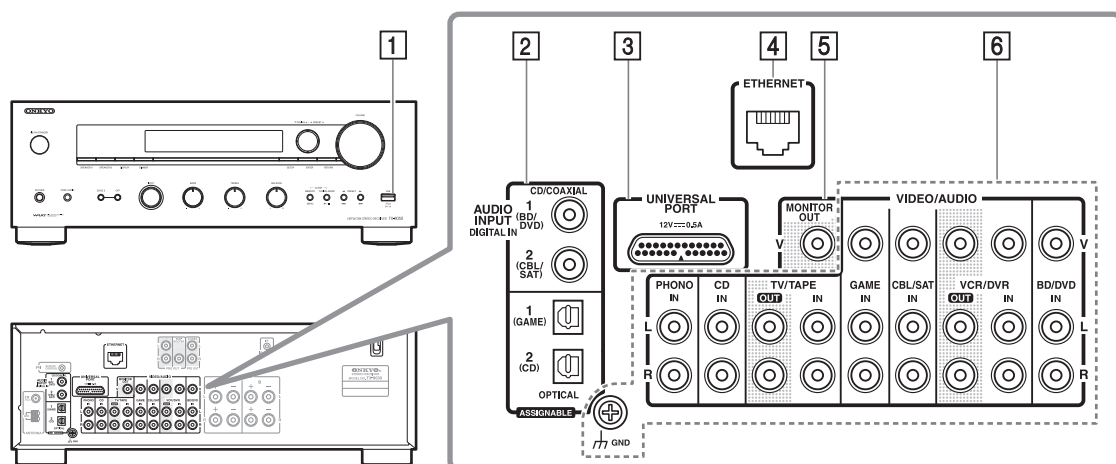
接続に必要なケーブルの名称と接続端子の形状

信号	ケーブル名称		接続端子		説明
映像	ビデオコード（コンポジット）		V	黄	標準的な映像信号用の端子で、多くのテレビやビデオなどの映像機器に装備されています。
音声	光デジタル（OPTICAL）		OPTICAL		デジタルサウンドを楽しむことができます。音質は同軸デジタルと同レベルです。
	同軸デジタル（COXIAL）		COAXIAL	橙	デジタルサウンドを楽しむことができます。音質は光デジタルと同レベルです。
	オーディオ用ピンコード		L R	白 赤	アナログ音声信号を伝送します。

光デジタル入力端子について

本機の光デジタル入力端子は、すべてとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして、光デジタルケーブルを差し込んでください。

ご注意

- 光デジタルケーブルはまっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。
- デジタル入力端子に入力できる信号は、PCM のみとなります。本機は PCM 以外（マルチチャンネルなど）の入力には対応していません。再生する機器の出力設定は PCM にしてください。

No.	端子			AV 機器
1	USB			iPod/iPhone、MP3 プレーヤー、USB フラッシュメモリー
2	DIGITAL IN	OPTICAL	1 (GAME)	ゲーム機
			2 (CD)	テレビ、CD プレーヤー
		COAXIAL	1 (BD/DVD)	ブルーレイディスク、DVD プレーヤー
			2 (CBL/SAT)	衛星放送 / ケーブルチューナー、RI ドック、他
3	UNIVERSAL PORT			ユニバーサルポート対応機器（(UP-A1 など）
4	ETHERNET			ルータ
5	MONITOR OUT			テレビ、プロジェクターなど
6	BD/DVD IN			ブルーレイディスク /DVD プレーヤー
	VCR/DVR IN			ビデオレコーダー /DVD レコーダー （デジタルビデオレコーダー）、RI ドック
	CBL/SAT IN			衛星放送 / ケーブルチューナーなど
	GAME IN			ゲーム機 /RI ドック
	TV/TAPE IN			テレビ、カセットテープデッキ、RI ドック
	CD IN			CD プレーヤー（レコードプレーヤー）
	PHONO IN			レコードプレーヤー

ご注意

- 接続の際は、接続する機器の取扱説明書も参照ください。
- 本機の USB 端子にパソコンを接続しないでください。本機の USB 端子にはパソコンから音声を入力できません。
- フォノプリアンプ内蔵のレコードプレーヤー（MM）を CD IN に接続します。フォノプリアンプを使用しない、または内蔵していない場合は、PHONO IN に接続してください。
  可動コイル（MC）カートリッジタイプの場合、本機に対応する MC ヘッドアンプまたは MC 変圧器を PHONO IN に接続してください。詳しくはレコードプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
  アース（接地）線のあるレコードプレーヤーは、アース線を本機の GND 端子に接続してください。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆にノイズが大きくなることがあります。その場合は、アース線を接続する必要はありません。
- 3 と 6 の接続で別室（Zone 2）でもお楽しみいただく場合、メインルームでは音声の録音、再生が楽しめ、別室（Zone 2）では音声の再生がお楽しみいただけます。
- 6 の接続で、ブルーレイディスク /DVD プレーヤーにメインのステレオ出力と、マルチチャンネル出力の両方が備わっている場合は、メインのステレオ出力に接続してください。

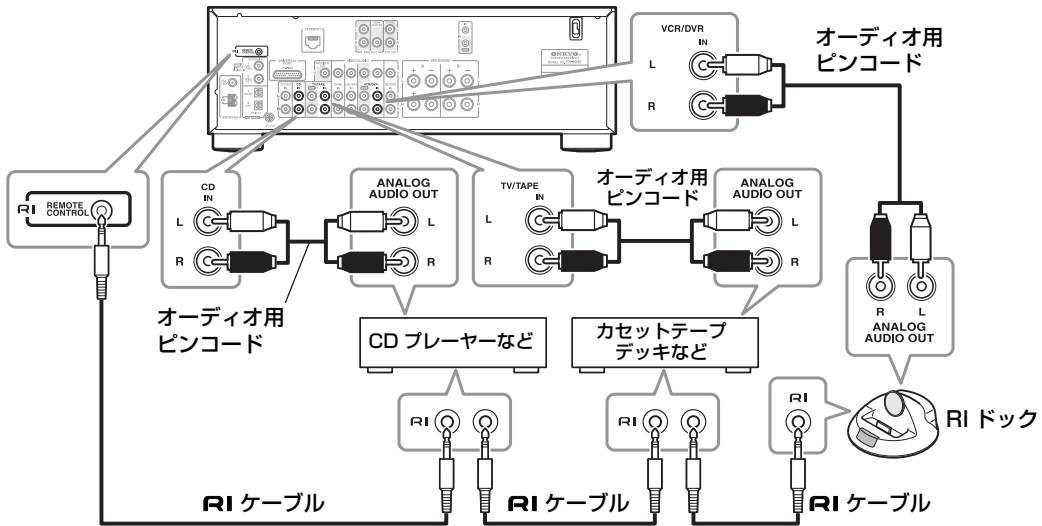
■ 録画方法

録画をするには、「録音・録画」をご覧ください（→ p. 23）

オンキヨー製品と連動させる接続

RI端子付きのオンキヨー製品に、RIケーブルとオーディオ用ピンコードを接続すると、以下のような連動機能が可能です。

RI ケーブルとは、オンキヨーのシステム動作用ケーブルです（本機には付属していません）。

RI ケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

1 各オンキヨー製機器が、オーディオ用ピンコードで接続されていることを確認してください（接続例の接続 6）（→ p. 16）。

2 RI ケーブルを接続します（図をご覧ください）。

■ システムオンとオートパワーオン

本機がスタンバイモードになっている状態で、RI 接続されている機器の再生を始めると、自動的に本機の電源が入り、該当する機器が入力ソースに選ばれます。

■ ダイレクトチェンジ

RI 接続されている機器の再生が始まると、その機器が入力ソースに選ばれます。

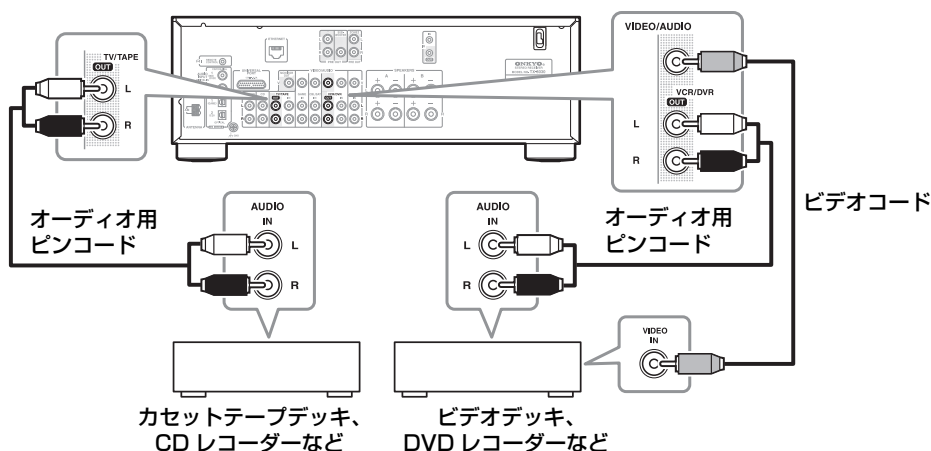
■ リモコン操作

本機のリモコンを使って、RI に対応しているオンキヨー製機器を操作できます。リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作します。

ご注意

- 製品によっては、RI 接続をしても、一部の機能が働かないことがあります。
- チューナーのタイマー機能や、録音機器の CD ダビング機能は働きません。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- RI ケーブルの接続は、順序の指定はありません。
- RI 端子が２つある場合、２つの端子の働きは同じです。どちらにもつなげます。
- 新旧製品の連動動作の対応 / 非対応については、オンキヨーオーディオコールセンターにお問い合わせください。
- RI ドックなどのオンキヨー製ドックを、RI 接続する場合は、入力表示を切り換えてご使用ください(→ p. 19)。
- Zone 2 を使用しているときは、システムオンとオートパワーオンおよびダイレクトチェンジ機能は働きません。

録音・録画機器を接続する

録画をするには、「録音·録画」をご覧ください(→ p. 23)。

ご注意

- 録音·録画するには、本機の電源を入れる必要があります。スタンバイ状態では録音·録画できません。
- テレビや再生側ビデオデッキから、録画用のビデオデッキに、本機を経由せずに直接録画したい場合は、テレビやビデオデッキの音声·映像出力を、録音用のビデオデッキの音声·映像入力に直接接続してください。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- TV/TAPE IN 端子への入力信号は、TV/TAPE OUT 端子に出力されません。これは入出力がループして故障するのを防ぐためです。
- VCR/DVR IN 端子への入力信号は、VCR/DVR OUT 端子に出力されません。これは入出力がループして故障するのを防ぐためです。
- 著作権保護されたブルーレイディスクや DVD は、デジタル録音·録画できません。
- デジタル信号は録音·録画できません。アナログ入力時のみ録音·録画できます。
- DTS 対応の CD や LD をアナログ録音すると、DTS 信号はノイズとして録音されますのでご注意ください。
- Pure Audio(ピュア オーディオ) リスニングモードでは、ビデオ回路の電源がオフになるため映像が出力されません。録画するときは、他のリスニングモードを選んでください。

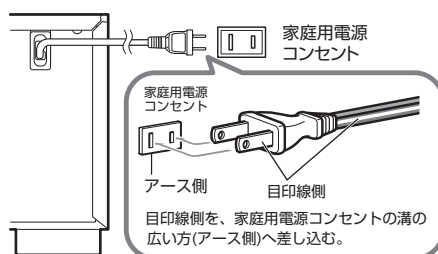
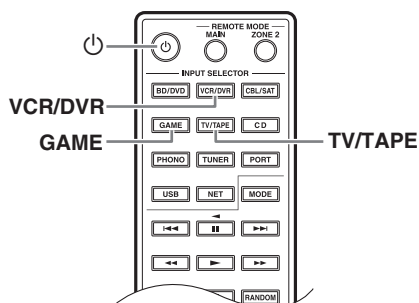
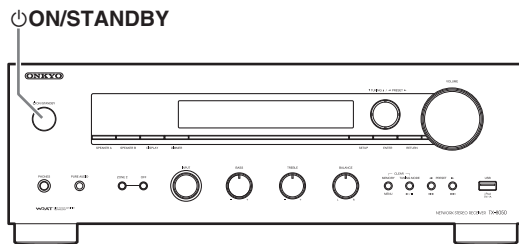
電源コードを接続する

電源コードをコンセントに接続します。

電源コードを接続する前に

- すべての接続が完了していることを確認してください。
- 本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れて、コンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。

より良い音で聴いていただくために

本機の電源コンセントは極性の管理がされています。電源プラグの目印側を、家庭用電源コンセントの溝の広い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

本機の電源を入れる

電源を入れる

前面パネルの [⏻ON(オン)/STANDBY(スタンバイ)] ボタンを押す
またはリモコンの [⏻] ボタンを押す

本機の電源がオンになり、表示部が点灯します。

本機の電源を切るときは、前面パネルの [⏻ON/STANDBY] ボタンまたはリモコンの [⏻]ボタンを押します。本機がスタンバイ状態になります。

本機の電源を入れたときに、大きな音が鳴って驚かないように、必ず音量を下げてから電源を切るようにしてください。

ご注意

リモコンの [⏻]ボタンを押しても本機のオン / オフができない場合は、p.10「Remote Mode ボタンの使い方」を参照ください。

入力表示を切り換える

入力切替で[TV/TAPE]、[VCR/DVR]、[GAME]を選択した際、接続した機器に合わせて入力表示を切り換えることができます。

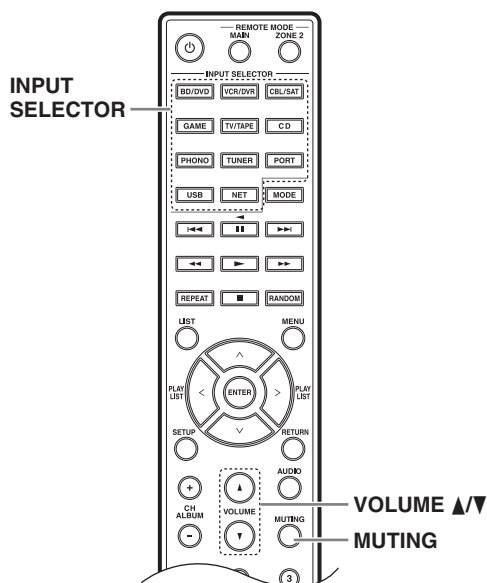
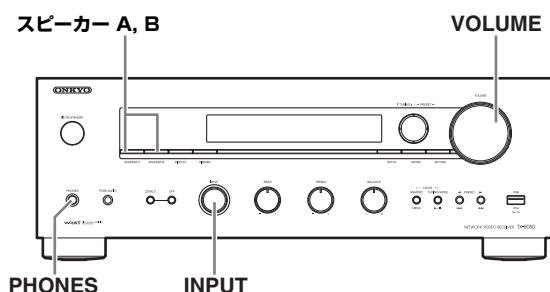
それぞれの入力に以下の名前を設定できます。

- [TV/TAPE]：TV/TAPE ⇔ DOCK
- [VCR/DVR]：VCR/DVR ⇔ DOCK
- [GAME]：GAME ⇔ DOCK

1 リモコンの INPUT(インプット) SELECTOR(セレクター) で名前を切り換えるボタンを押す

設定されている名前が表示されます。

2 選択したボタンを約 3 秒間押し続けると名前が切り換わる

音楽を楽しむ

接続した機器を再生する

1 [INPUT]セレクターまたはリモコンのINPUT SELECTORで聴きたいソースを選ぶ

2 [SPEAKER A]または[B]ボタンでお聴きになるスピーカーセットを選ぶ

A または B 選択したスピーカーセットが表示されます。

3 選択した機器の再生をスタートする

4 [VOLUME]コントロールまたはリモコンの VOLUME[▲]/[▼]ボタンで音量を調節する

消音する（リモコン操作のみ）

音を一時的に消音します。

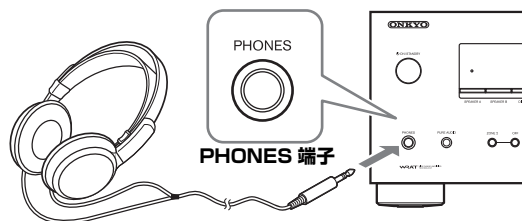
リモコンの[MUTING]ボタンを押す

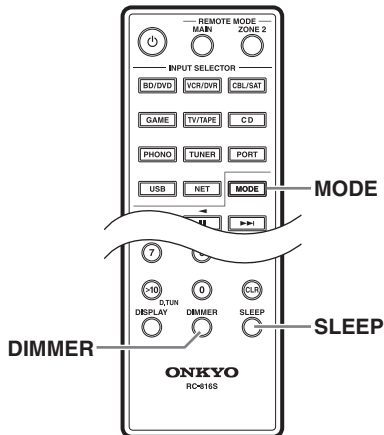
音が一時的に消えます。

音を元に戻すには、[MUTING]ボタンを押す

リモコンの VOLUME[▲]/[▼]ボタンを押したり、本機をスタンバイ状態にした場合も、消音は解除されます。

ヘッドホンで聴く

標準プラグ（φ6.3mm）のヘッドホンをPHONES 端子に接続する

ご注意

- 接続するときは音量を下げてください。
- ヘッドホン使用中はスピーカーからの音が消えます。
- USB ポートに接続した iPod/iPhone の音楽をヘッドホンで聴くことはできません。

表示部の明るさを変える

表示部の明るさを変えることができます。

[DIMMER（ディマー）]ボタンまたはリモコンの[DIMMER]ボタンをくり返し押す

ボタンを押すたびに少し暗く→暗く→標準を繰り返します。

スリープタイマーを使う（リモコン操作のみ）

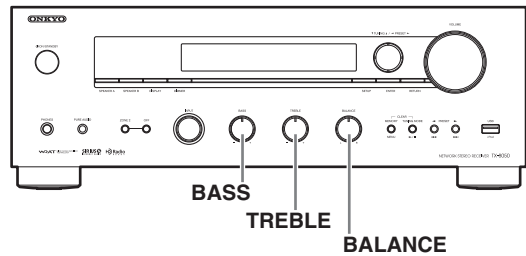
指定した時間が経過すると、電源が自動的に切れるように設定できます。

リモコンの[SLEEP（スリープ）]ボタンをくり返し押す

「Sleep 90 min（ミニッツ）」が表示され、90 分後にスタンバイ状態になります。ボタンを押すたびに 10 分単位で設定時間が短くなります。

スリープタイマー設定中は SLEEP 表示が点灯します。残り時間を約 5 秒間表示したあと、元の表示に戻ります。

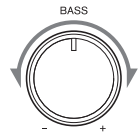
！ヒント

- スリープタイマーを解除するには、SLEEP 表示が消えるまで、くり返し[SLEEP]ボタンを押すか、一度スタンバイ状態にしてから、再度電源を入れます。
- [SLEEP]ボタンを押すと、スタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。残り時間が 10 分以下のときにもう一度[SLEEP]ボタンを押した場合、スリープタイマーは解除されます。

トーン（低音、高音）、バランスを調節する

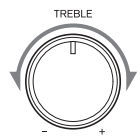
トーン（低音域、高音域）、バランスの調節は、どの入力ソースの場合でも働きます。

低音域の調節

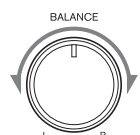
[BASS（バス）]コントロールを回して調節します。

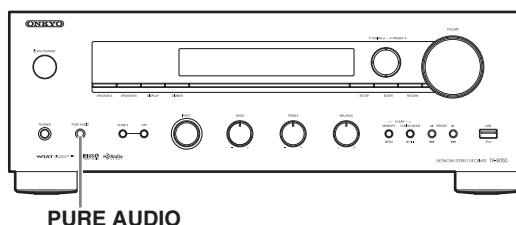
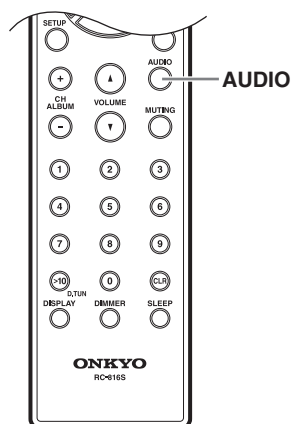
右に回すと低音が強調され、左に回すと減衰されます。真ん中の位置が標準です。

高音域の調節

[TREBLE（トレブル）]コントロールを回して調節します。

右に回すと高音が強調され、左に回すと減衰されます。真ん中の位置が標準です。

バランスの調節

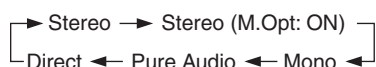
スピーカーから出る左右の音のバランスを調節します。

[BALANCE（バランス）]コントロールを右に回すと音が右に寄り、左に回すと左に寄ります。真ん中で左右同じ音量になります。

ご注意

ヘッドホンが接続されているときは、バランスコントロールは働きません。

リスニングモードの切り換え

リモコンの[AUDIO]ボタンをくり返し押してリスニングモードを切り換えることができます。

切り換わる順は次のとおりです。

→ Stereo → Stereo (M.Opt: ON) →
Direct ← Pure Audio ← Mono ←

ミュージックオプティマイザーは圧縮された音楽ファイルの再生時に、音のクオリティを引き上げます。

Stereoの表示で[AUDIO]ボタンを一度押すと、「Music Optimizer: On」と数秒表示され、同時に「M.Opt」表示が点灯します。この状態でミュージックオプティマイザーが効いたステレオ音声がお楽しみいただけます。

Directリスニングモードを選択すると、DIRECT表示が点灯し、元の音源そのままのピュアな音をお楽しみいただけます。

Directリスニングモードのオン / オフは、お聴きになるソースに合わせて、お好みの音になるほうを選択してください。

Directリスニングモードでは低音域、高音域の調節は効きません。

ミュージックオプティマイザーを解除するには

[AUDIO]ボタンをくり返し押し、「M.Opt」表示を消します。

Directリスニングモードを解除するには

[AUDIO]ボタンをくり返し押し、「Stereo」の表示にします。

ご注意

Music Optimizerは、PCM48kHz以下のデジタル入力およびアナログ入力でのみ有効です。DirectおよびPure AudioリスニングモードではMusic Optimizerは無効になります。

Pure Audioの選択

Pure Audioリスニングモードは、ノイズを最小限におさえ、本来の音を楽しむことのできるリスニングモードです。

前面パネルの[PURE AUDIO]ボタンを押すと、ボタンが点灯し、Pure Audioリスニングモードになります。

PURE AUDIO

Pure Audioリスニングモード中は表示がすべて消え、音質コントロールはバイパスされるため、低音域、高音域の調節は効きません。

ご注意

Zone 2機能を使用しているときは、Pure Audioリスニングモードは働きません。

Pure Audioリスニングモードを解除するには

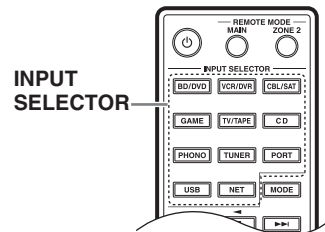
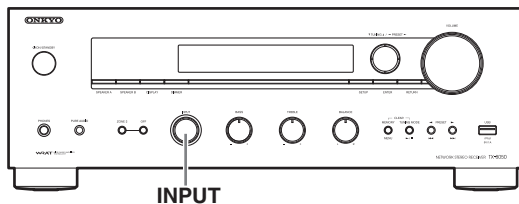
[PURE AUDIO]ボタンを押します。ボタンが消灯します。

入力ソースの選択

デジタルソースが入力されると、自動的にデジタルソースの再生に切り替わります。

録音・録画

あなたが録音・録画したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音機能を有する機器で録音·録画する方法、異なるソースの音声と映像を録音·録画する方法について説明します。

入力ソースをそのまま録音·録画する

音声入力はレコーダー(カセットテープデッキ、CD レコーダー、MD レコーダーなど)に録音します。

映像入力はビデオレコーダー(ビデオデッキ、DVD レコーダーなど)に録画します。

1 レコーダーを準備する

レコーダーを録音·録画できるようにしておきます。必要ならば録音レベルの調整をしておきます。

詳しくは、レコーダーの取扱説明書を参照ください。

2 [INPUT(インプット)]セレクターまたはリモコンの INPUT(インプット) SELECTOR(セレクター) で録音·録画するソースを選択する

3 録音·録画を開始し、同時にソース機器の再生を開始する

録音·録画が終了したら、録音機器、再生機器を停止します。

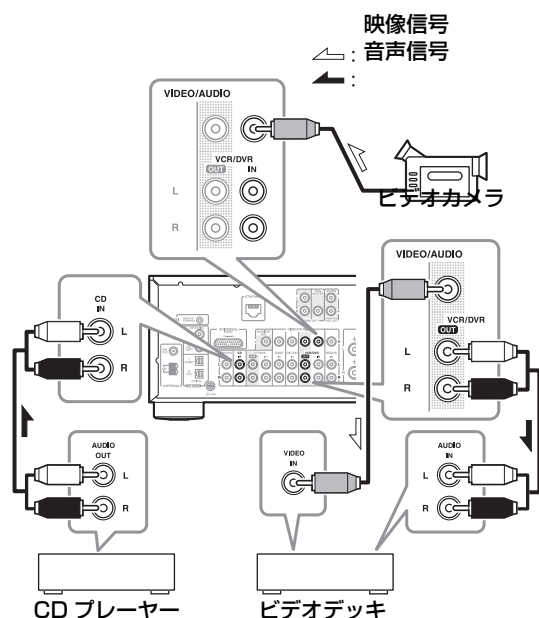
ご注意

- 録音·録画中に入力を切り換えると、切り換えた入力ソースが録音·録画されます。
- 音量、トーン、消音は録音·録画には影響しません。

別々の音声と映像を録画する

音声と映像をそれぞれ別の機器で再生し、1 つのビデオとして録画します。

音声は、音声専用の入力端子である CD、TV/TAPE、FM/AM から選択できます。映像は BD/DVR、CBL/SAT、GAME のいずれかに接続された映像機器の再生画が録画されます。

以下の例では、CD IN 端子に接続した CD プレーヤーの音声と GAME 端子に接続したビデオカメラの映像を VCR/DVR OUT 端子に接続したビデオデッキに録画する場合を説明しています。

1 ビデオカメラ、CD プレーヤーの再生準備をする

2 ビデオデッキの録画の準備をする

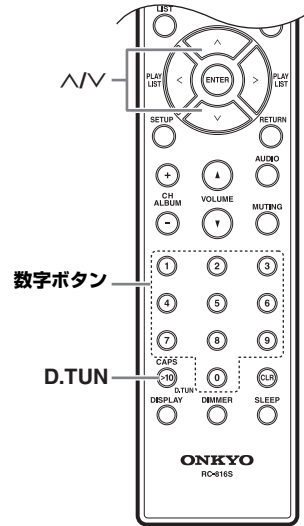
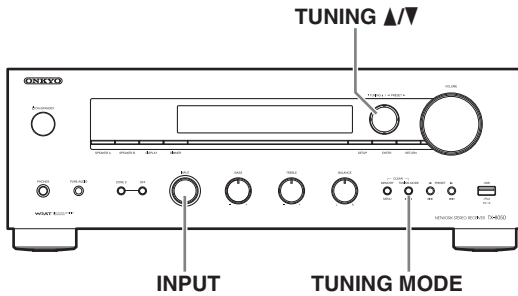
3 リモコンの[GAME]ボタンを押す

4 リモコンの[CD]ボタンを押す

この状態で音声は CD プレーヤーが、映像はビデオカメラが選択されました。

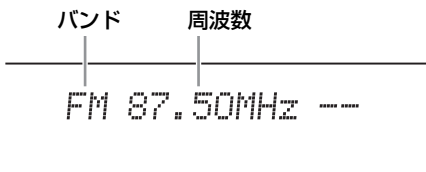
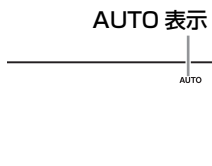
5 ビデオデッキの録画を開始し、同時に CD プレーヤーとビデオカメラの再生を開始する

音声は CD プレーヤーからのものが、映像はビデオカメラからのものがビデオデッキに録画されます。

ラジオを聴く

AM/FM 放送を聴く

本機に内蔵のチューナーで、AM または FM 放送をお楽しみいただけます。

1 [INPUT]セレクターまたはリモコンの INPUT SELECTOR で[AM]または[FM]を選ぶ

以下は FM を選択したときの例です。

2 [TUNING MODE]ボタンを押し、選局モードを選ぶ

オート選局

「AUTO」表示が点灯。

このモードではステレオの受信になります。

手動選局

「AUTO」表示が消灯。

このモードではモノラルの受信になります。

3 TUNING[▲]/[▼]ボタンを押す

リモコンの[∧][∨]ボタンを押しても同様に選局できます。

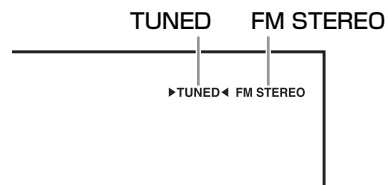
オート選局

自動的に選局を始め、局を受信すると停止します。

手動選局

ボタンを押すごとに周波数が変化します。受信する曲に合わせます。

局を受信すると、「TUNED」表示が点灯します。

さらに FM ステレオ放送を受信したときは、「FM STEREO」表示が点灯します。

FM ステレオ放送の受信状態が悪い場合

受信している FM ステレオ放送の受信状態が悪い場合は、手動選局に切り換えることで改善される場合があります。ただし、手動受信では音声はモノラルになります。

■ 周波数を直接入力して受信する場合

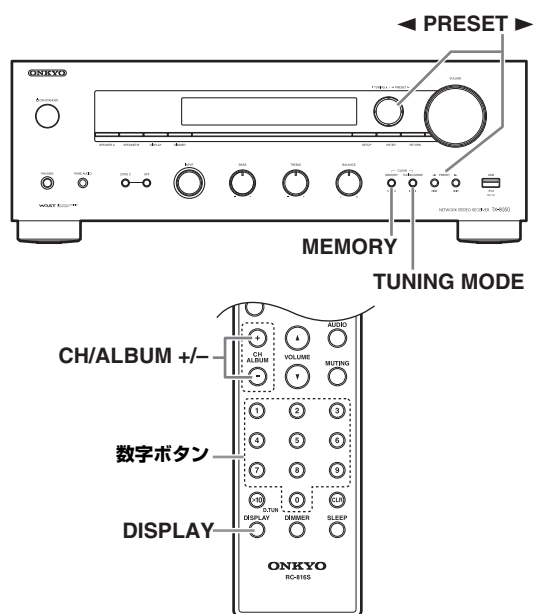
受信する局の周波数が分かっている場合は、次の方法で直接周波数を指定して受信することができます。

1 リモコンの[D.TUN]ボタンを押す

FM_ _ _._ _MHz --

2 8秒以内に数字ボタンを使って、受信する周波数を入力する

87.5MHz(FM)を受信する場合、[8] [7] [5]と入力します。入力後しばらくすると周波数が切り換わります。

局のプリセット（記憶）

AM/FM 放送合わせて 40 局までプリセットすることができます。

1 プリセットする局を受信する

2 [MEMORY（メモリー）]ボタンを押す

FM 87.50MHz --

3 プリセット番号が点滅している間に、PRESET（プリセット）[◄]/[►]ボタンでプリセットする番号を 1 ～ 40 の中から選ぶ

4 [MEMORY]ボタンを押す

プリセット番号の点滅が点灯に変わり、周波数がプリセットされます。

上記作業をくり返してご希望の曲をプリセットします。

■ プリセットした局の選択

プリセットした局の選択は、リモコンの数字ボタンまたは CH/ALBUM［+］［–］で番号を指定する

または、

本体の PRESET［◀］/［▶］ボタンで選択する

■ プリセットした局の削除

1 削除したいプリセット番号で受信する

プリセットした局の選択は前項目を参照。

2 ［MEMORY］ボタンを押しながら、［TUNING MODE］ボタンを押す

プリセットが消去され、番号の表示が消えます。

■ 名前の編集

プリセットした局に名前を付けることができます。付けた名前は、プリセットで選択したときに、表示されます。

1 リモコンの［SETUP］ボタンを押す

2 ［∧］/［∨］ボタンを押し、「2. Souce Setup」を選び、［ENTER］ボタンを押す

3 ［∧］/［∨］ボタンを押し、「Name Edit」を選び、［ENTER］ボタンを押す

4 ［∧］/［∨］/［<］/［>］ボタンで文字を選び、［ENTER］ボタンを押す

くり返し 10 文字まで入力できます。

- 文字列には小文字を中心とした文字列パターン 1 と、大文字を中心とした文字列パターン 2 があります。

  [∧]/[∨] ボタンを押すと、それぞれのパターンの中で文字列を選ぶことができます。[<]/[>] ボタンを押して入力したい文字を選択し、[ENTER] ボタンを押します。表示されている文字列パターンの中に選びたい文字がない場合は、[∧]/[∨] ボタンで［Shift ← → BS OK］の文字列を表示し、[<]/[>] ボタンで「Shift」を選んで [ENTER] ボタンを押すと、もう一つの文字列パターンになります。
- 入力できる文字列は下表をご覧ください。

1

<table>
<tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>j</td><td>k</td><td>l</td><td>m</td><td></td></tr>
<tr><td>n</td><td>o</td><td>p</td><td>q</td><td>r</td><td>s</td><td>t</td><td>u</td><td>v</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td></td></tr>
<tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>0</td><td>-</td><td>=</td><td>`</td><td></td></tr>
<tr><td>{</td><td>}</td><td>¦</td><td>:</td><td>"</td><td><</td><td>></td><td>?</td><td colspan="6">S p a c e</td></tr>
<tr><td colspan="5">S h i f t</td><td colspan="2">< -</td><td colspan="2">- ></td><td colspan="2">B S</td><td colspan="3">O K</td></tr>
</table>

2

<table>
<tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>J</td><td>K</td><td>L</td><td>M</td><td></td></tr>
<tr><td>N</td><td>O</td><td>P</td><td>Q</td><td>R</td><td>S</td><td>T</td><td>U</td><td>V</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td></td></tr>
<tr><td>!</td><td>@</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>^</td><td>&</td><td>*</td><td>(</td><td>)</td><td>_</td><td>+</td><td>~</td><td></td></tr>
<tr><td>[</td><td>]</td><td>＼</td><td>;</td><td>’</td><td>,</td><td>.</td><td>/</td><td colspan="6">S p a c e</td></tr>
<tr><td colspan="5">S h i f t</td><td colspan="2">< -</td><td colspan="2">- ></td><td colspan="2">B S</td><td colspan="3">O K</td></tr>
</table>

アルファベット、数字、記号以外のコマンドの意味は下記の通りです。

Space:

スペースを入力します。

Shift*1:

表示する文字パターンを切り替えます。

←/→:

すでに入力した文字を修正したいときに左右に移動します。

BS (Back Space)*2:

カーソル位置から左側の文字を削除します。

OK:

入力が終了し、指定した文字を登録する際に使用します。

*1 リモコンの［>10］ボタンでも同様の働きをします。

*2 リモコンの［CLR］ボタンを押すと、入力中の文字をすべて消すことができます。

■ 表示の切り替え

AM または FM 受信時、リモコンの [DISPLAY] ボタンを押すと、プリセットした局の名前と周波数の表示を切り替えることができます。

USB、ネットワーク内の音楽ファイルを再生する

ここでは、USB ストレージ(USB フラッシュメモリーなど)、ネットワーク上のサーバーや PC の音楽ファイルを再生する方法を説明します。

本機は日本語表示に対応していません。表示できない文字はアスタリスク(*)に置き換わります。
本機は iPod/iPhone の映像出力には対応していません。

iPod/iPhone を USB ポートに接続する

iPod や iPhone を本機の USB ポートに接続すると、iPod や iPhone に保存されている音楽ファイルを再生することができます。

1 リモコンの[USB]ボタンを押す

本体の [INPUT] セレクターで選択することもできます。

2 iPod/iPhone 付属の USB ケーブルで本機前面にある USB ポートに接続する

USB 表示(→ p. 9)が点灯していれば iPod/iPhone に接続できています。USB 表示が点滅している場合、本機が iPod/iPhone を認識できていません。

!ヒント

iPod/iPhone 付属の USB ケーブルで接続することを推奨します。

3 [MODE]ボタンを押して、Extended Mode に切り換える

デバイス内容が表示されます。

フォルダを開くには[∧]/[∨]ボタンを押して選び、[ENTER] ボタンを押します。

- 初期設定では iPod/iPhone は Standard Mode として操作できます *1。
- [MODE]ボタンをもう一度押すと、Standard Mode に切り換わります。

4 [∧]/[∨]ボタンを押して音楽ファイルを選び、[►]または[ENTER]ボタンを押して再生する

- ひとつ前の画面に戻るには[RETURN]ボタンを押してください。
- 停止または一時停止するには、[■]ボタンまたは[II]ボタンを押します。
- 次の曲を再生するには、[►►I]ボタンを押します。現在の曲の先頭を再生するには、[I◄◄]ボタンを押します。前の曲を再生するには、[I◄◄]ボタンを2回押します。
- 現在の曲を早送りするには、[►►]ボタンを押します。現在の曲を早戻しするには、[◄◄]ボタンを押します。

iPod または iPhone の音楽ファイルを再生する

iPod または iPhone に保存されている音楽ファイルを再生する手順について説明します。

以下の iPod/iPhone に対応しています。

・iPod touch(第一、第二、第三、第四世代、)
・iPod classic
・iPod(第五世代)
・iPod nano(第一、第二、第三、第四、第五、第六世代)
・iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G、iPhone

- リピートモードに切り換えるには、[REPEAT]ボタンを押します。ランダムモードに切り換えるには、[RANDOM]ボタンを押します。

！ヒント

- 表示を切り換えるには、[DISPLAY]ボタンを押します。ボタンを押すたびに再生中の曲の情報(アーティスト名、アルバム名、再生経過時間、曲時間、情報など)を切り換えて表示します。
- [LIST]ボタンを押すと、再生中に再生画面とリスト画面を切り換えて表示します。

ご注意

ＵＳＢ ポートに接続した iPod/iPhone の音楽をヘッドホンで聴くことはできません。

Standard Mode で操作する

表示部にコンテンツ情報は表示されず、iPod/iPhone 本体および、本機のリモコンにて操作が可能です。

ビデオは再生可能(音声のみ出力可能)ですが、画面に映像は出ません。

以下の iPod は Standard Mode には対応していません。

Extended Mode のみ操作可能になります。

- iPod(第五世代)
- iPod nano(第一世代)

Extended Mode で操作する

表示部にコンテンツ情報が表示され、表示部を見ながら選択および操作ができます。

トップ画面のリスト

・プレイリスト(Playlists)
・アーティスト(Artists)
・アルバム(Albums)
・ジャンル(Genres)
・曲(Songs)
・作曲者(Composers)
・シャッフル(Shuffle Songs)*2
・再生中(Now Playing)*3

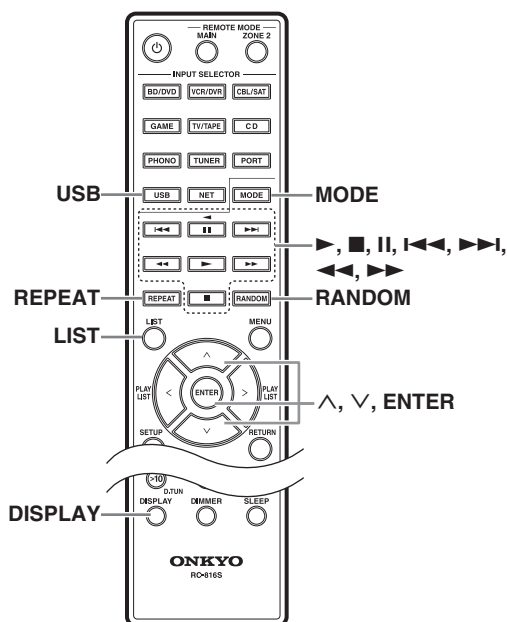
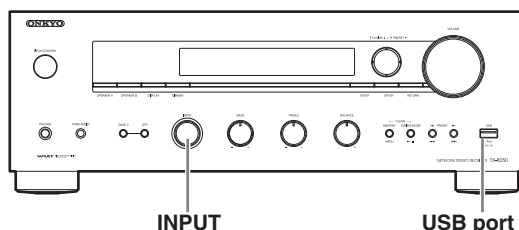
ご注意

iPod/iPhone の機種・世代によっては、表示内容が異なる場合もあります。また、Extended Mode(映像)でのサポートを保証していない場合があります。

*1 モードは iPod/iPhone を抜いても保存されているため、Extended Mode で抜いて、再度 iPod/iPhone を差すと次回は Extended Mode で起動します。

*2 すべての曲をランダム再生します。

*3 再生している曲の情報を表示します。

USB ストレージ内の音楽ファイルを再生する

1 リモコンの[USB]ボタンを押す

本体の [INPUT] セレクターで選択することもできます。

2 本機の USB 端子に音楽ファイルが入った USB ストレージを接続する

USB 表示が点灯します。点滅する場合は、USB ストレージの接続をご確認ください。

3 [ENTER]ボタンを押す

USB ストレージ内のフォルダーや音楽ファイルがリスト表示されます。フォルダーを開くには[∧]/[∨]ボタンでフォルダーを選び、[ENTER]ボタンを押してください。

4 [∧]/[∨]ボタンを押して音楽ファイルを選び、[▶]ボタンまたは[ENTER]ボタンを押す

選択した音楽ファイルの情報が表示され、再生が開始されます。

- 停止または一時停止するには、[■]ボタンまたは[II]ボタンを押します。
- 次の曲を再生するには、[▶▶I]ボタンを押します。現在の曲の先頭を再生するには、[I◀◀]ボタンを押します。前の曲を再生するには、[I◀◀]ボタンを２回押します。
- 現在の曲を早送りするには、[▶▶]ボタンを押します。現在の曲を早戻しするには、[◀◀]ボタンを押します。
- リピートモードに切り換えるには、[REPEAT]ボタンを押します。ランダムモードに切り換えるには、[RANDOM]ボタンを押します。

！ヒント

- 表示を切り換えるには、[DISPLAY]ボタンを押します。ボタンを押すたびに再生中の曲の情報（アーティスト名、アルバム名、再生経過時間、曲時間、情報など）を切り換えて表示します。
- [LIST]ボタンを押すと、再生中に再生画面とリスト画面を切り換えて表示します。

！ヒント

本体の[MENU]、[▶/II]、[I◀◀]、[▶▶I]ボタンを使って以下の操作ができます。

[MENU]：ボタンを押し続けると最初のメニューに移動します。
[▶/II]：再生のスタート / 一時停止。
[I◀◀]：現在の曲の最初に戻ります。（ボタンを押し続けると早戻しになります。）
[▶▶I]：次の曲の先頭に移動します。（押し続けると早送りになります。）

ご注意

- 本機で使用できない USB ストレージを接続すると、「No Storage」と表示されます。
- 本機では USB Mass Storage Class 規格に対応している USB ストレージを使用できます。
- USB ストレージのフォーマットは、FAT16、FAT32 に対応しています。
- 本機の USB 端子から電源供給を受けるタイプのハードディスクの動作は保証できません。
- USB ストレージに AC アダプターが付属している場合は、AC アダプターをつないで家庭用電源でお使いください。
- USB 対応オーディオプレーヤーと本機を接続した場合、オーディオプレーヤーの画面と本機の画面が異なる場合があります。またオーディオープレーヤーに依存する管理機能（音楽ファイルの分類、ソート、付加情報など）は本機では使用できません。
- 著作権保護された音声ファイルは本機では再生できません。
- USB ストレージの使用に際して、データの損失や変更、ストレージの故障などが発生しても弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。USB ストレージに保存されているデータは、本機でのご使用の前にバックアップを取っておくことをおすすめします。
- USB ストレージによっては、正しく内容を読み込めなかったり、電源が正しく供給されなかったりする場合があります。
- 本機はハブおよびハブ機能付き USB 機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- 本機はセキュリティ機能付き USB メモリーに対応していません。
- 本機の USB 端子にパソコンを接続しないでください。本機の USB 端子にはパソコンから音声を入力できません。
- USB カードリーダーに挿したメディアは、この機能で使えないことがあります。
- USB ストレージがパーティションで区切られている場合、本機では複数の USB ストレージとして認識されます。
- USB ストレージやその内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- 電池で動作するオーディオプレーヤーを使う場合は、電池の残量が充分にあることを確認してください。
- 本機で再生できる音楽ファイルのフォーマットは「対応音声フォーマット」をご覧ください （→ p. 36）。

radiko.jp を聴く

本機をネットワークに接続する必要があります。（→ p. 35）

radiko.jp は地上波ラジオ放送を CM も含め、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサイマルサービスです。

対応 (聴取可能) エリア、対応放送局について詳しくは radiko.jp の Web サイト(http://radiko.jp)をご覧ください。

1 **リモコンの[NET]ボタンを押す**

「NET」が表示され、「NET」表示が点灯します。点滅する場合は、イーサネットケーブルの接続をご確認ください。

2 **[∧]/[∨]ボタンで「radiko.jp」を選び、[ENTER]ボタンを押す**

本機が接続されているエリアに応じた放送局リストが表示されます。radiko.jp サービスが行われていない地域、もしくはサービス停止中の場合、エラー画面が表示されます。

3 **[∧]/[∨]ボタンを押して放送局を選び、[ENTER]ボタンを押す**

再生が開始されます。

楽曲情報を提供している放送局を選択した場合は、楽曲のアーティスト名、楽曲名が表示されます。

楽曲情報が無い放送局の場合は、番組名、出演者名が表示されます。

再生画面で、[◀◀]/[▶▶] ボタンを押すと、放送局が切り換わります。

vTuner インターネットラジオを聴く

本機をネットワークに接続する必要があります。（→ p. 35）

vTuner インターネットラジオは、世界中のインターネットラジオ局のポータルサイトです。音楽ジャンル別、国別などの区分で各地のラジオ局を検索できます。本機ではあらかじめ、vTuner インターネットラジオが登録されています。

1 **リモコンの[NET]ボタンを押す**

「NET」が表示され、「NET」表示が点灯します。点滅する場合は、イーサネットケーブルの接続をご確認ください。

2 **[∧]/[∨]ボタンで「vTuner Internet Radio」を選び、[ENTER]ボタンを押す**

3 **[∧]/[∨]ボタンでプログラムを選び、[ENTER]ボタンを押す**

再生が開始されます。

以下のメニューを選択するには、[MENU]ボタンを押します。

Stations like this：

再生中の局と似た放送局を表示します。

Add to My Favorites：

局を My Favorites リストに登録します。

インターネットラジオサービスのトップ画面を表示するには、[RETURN] ボタンを長押ししてください。

！ヒント

[LIST] ボタンを押すと、再生中の画面とリスト画面を切り換えられます。

■ vTuner インターネットラジオの番組をお気に入りに登録する

vTuner インターネットラジオの特定の番組(プログラム)を、再生しやすいようにお気に入りに登録できます。二通りの方法があります。

- **「My Favorites」に登録する**

  リモコンの[NET]ボタンを押した後に表示される「My Favorites」メニューに、お気に入りの番組を登録します。

  インターネットラジオ局を 40 局まで登録できます。

  1. **再生中のラジオ局またはラジオ局を選び、リモコンの［MENU］ボタンを押す**
  2. **「Add to My Favorites」を選び、[ENTER] ボタンを押す**
  3. **［<］を押して「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押す**

- **vTuner インターネットラジオの「ブックマーク」に登録する**

  vTuner インターネットラジオを選び、[ENTER] ボタンを押せば、ジャンル / 地域などと同じ画面に「My Favorites」のフォルダが表示されます。この中にお気に入りのインターネットラジオ番組を登録します。本機と同じ LAN に接続されているパソコンを使います。

  http://onkyo.vtuner.com/ であなたの製品の MAC アドレスを登録すると、このブックマークの中にお気に入りのラジオ番組を登録できます。MAC アドレスは、セットアップ画面から「ネットワーク」を選ぶと表示されます(→ p. 44)。

他のインターネットラジオ局を登録する

本機をネットワークに接続する必要があります。(→ p. 35)

本機は、PLS 形式、M3U 形式、および Podcast (RSS)形式のインターネットラジオ局に対応しています。これらの形式のインターネットラジオ局であっても、データの種類や再生フォーマットによって、再生できないこともあります。

radiko.jp や v Tuner インターネットラジオ以外のインターネットラジオ番組を聴くには、以下の手順で番組を「My Favorites」に登録します。

ご注意

本体表示部は日本語表示には対応しておりません。表示できない文字はアスタリスク(*)に置き換わります。

1 **リモコンの[SETUP]ボタンを押す**

2 **[∧]/[∨]ボタンで「5. Network Setup」を選び、[ENTER]ボタンを押す**

3 **[∧]/[∨]ボタンで「IP Address」を選び、[ENTER]ボタンを押す**

IP アドレスをメモに控えます。

4 **パソコンの電源を入れ、Internet Explorer® などのインターネットブラウザを開く**

5 **インターネットブラウザの URL 欄に本機の IP アドレスを入力する**

Internet Explorer をご利用の場合は「ファイル」から「開く」を選び、IP アドレスを入力する方法もあります。

インターネットブラウザに本機の情報が表示されます(WEB Setup Menu)。

6 **「My Favorites」タブをクリックする**

7 **インターネットラジオ局の名前と URL を入力する**

8 「Save」をクリックする

登録したインターネットラジオ局は「My Favorites」に追加されます。再生するには、リモコンの[NET(ネット)]ボタンを押して、「My Favorites」を選び[ENTER(エンター)]ボタンを押してください。

インターネットラジオ局が表示されますので、登録したインターネットラジオ局を選んで[ENTER]ボタンを押します。

My Favorites に登録した放送局を聴く

「My Favorites」に登録するには 32 ページをご覧ください。

1 リモコンの[NET]ボタンを押す

「NET」が表示され、「NET」表示が点灯します。点滅する場合は、イーサネットケーブルの接続をご確認ください。

2 [∧]/[∨]ボタンで「My Favorites」を選び、[ENTER]ボタンを押す

3 [∧]/[∨]ボタンでプログラムを選び、[ENTER]ボタンを押す

再生が開始されます。

以下のメニューを選択するには、[MENU(メニュー)]ボタンを押します。

Create new station
（新しいステーションを追加）：

お好みのステーションやインターネットラジオサービスをお気に入りに追加できます。

Rename this station
（ステーション情報を変更）：

お気に入りの名前を変更できます。

27 ページ「名前の編集」手順 4 を参照ください。

Delete from My Favorites
（My Favorites から削除）：

お気に入りを削除します。

ネットワークサーバー内の音楽をリモート再生する

本機をネットワークに接続する必要があります。（→ p. 35）

リモート再生とは、ホームネットワーク内の DLNA 準拠のコントローラー機器や PC を操作することによりそれぞれの機器に保存された音楽ファイルを本機で再生する機能です。

Windows Media® Player 12 の設定をする

ネットワークサーバーや PC に保存された音楽ファイルを本機で再生するために Windows Media® Player 12 を設定します。

1 パソコンの電源を入れ、Windows Media® Player12 を開く

2 「ストリーム」メニューを開き、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ

ダイアログが開きます。

3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする

ネットワーク内の再生機器の一覧が表示されます。

4 「メディア ストリーミング オプション」で本機を選び、「許可」になっていることを確認する

5 「OK」をクリックして、ダイアログを閉じる

これで Windows Media® Player 12 を使って本機でリモート再生をする準備が整いました。

リモート再生する

1 パソコンの電源を入れ、Windows Media® Player12 を開く

あらかじめ、Windows Media® Player12 の設定をしておく必要があります。

2 [NET] ボタンを押す

「NET」表示が点灯します。点滅している場合は、ネットワークの接続を確認してください。

3 [∧]/[∨] ボタンを押して「DLNA」を選び、[ENTER] ボタンを押す

ネットワークサーバーのリストが表示されます。

4 Windows Media® Player12 で再生したい音楽ファイルを選び、右クリックする

右クリックメニューが表示されます。別のネットワークサーバー内の音楽ファイルをリモート再生するには、「その他のライブラリ」からネットワークサーバーを開き、再生したい音楽ファイルを選びます。

5 右クリックメニューから本機を選ぶ

Windows Media® Player12 の「リモート再生」ウィンドウが開き、本機で再生が開始されます。

リモート再生中の操作は、お使いの Windows 7 の「リモート再生」ウィンドウで行います。本機から再生操作(再生や一時停止、早送り、早戻し、スキップアップ、スキップダウン、リピート、ランダムなど)はできません。

6 音量を調整する

「リモート再生」ウィンドウの音量バーを操作して、本機の音量を調整できます。標準の最大音量は 82 です。この設定を変更したい場合は Web セットアップ(WEB Setup Menu)から最大音量値(DMR 最大ボリューム)を入力します。

「他のインターネットラジオ局を登録する」に記載している WEB Setup Menu の項目を参照してください。

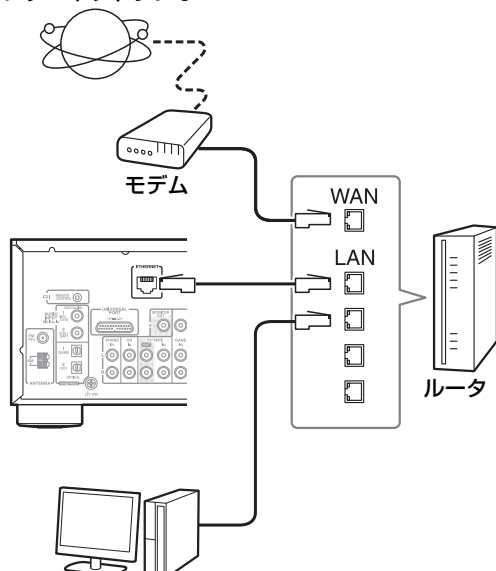
リモート再生ウィンドウと本機の音量値は一致しない場合があります。

本機で変更した音量は、「リモート再生」ウィンドウには反映されません。

NET/USB 機能を使用する

ネットワーク機器の接続

次の図は、本機をどのようにホームネットワークに接続するかを示しています。

この例では、ISP(インターネットサービスプロバイダ)に接続された、4 ポートスイッチングハブ内蔵ルータに各機器を接続しています。

ホームネットワーク（LAN）について

複数の機器をケーブルなどで接続し、お互いに通信できるようにしたものをネットワークといいます。

家庭ではパソコンやゲーム機をインターネットに接続したり、複数のパソコンで相互にデータをやりとりしたりするために、ネットワークを作る(一般的に構築するといわれます)ケースが多いようです。

このように家庭内など比較的狭い範囲に構築されるネットワークは LAN(Local Area Network)と呼ばれます。

この取扱説明書では、この LAN のことをもう少し身近に感じられるようにホームネットワーク(家庭のネットワーク)と書いています。

本機はパソコンなどのネットワークサーバーと接続することでネットワークサーバー内(パソコン内)の音楽ファイルを再生したり、インターネットと接続することでインターネットラジオを聴いたりすることができます。

このとき、本機とパソコンやインターネットを直接接続するわけではありません。

パソコンやインターネットと接続するためにいくつかの機器(ネットワーク機器)が必要になります。

■ ルータ

本機とパソコンや、本機とインターネットの間に入って情報(データ)の流れをコントロールするのが、このルータという機器です。

ネットワークでは情報(データ)の流れをトラフィック(日本語では「交通」の意)といいます。ルータは各機器の中でトラフィックコントロールつまり情報の交通整理をする役割を担っています。

- 本機では 100Base-TX スイッチ内蔵のブロードバンドルータの使用を推奨します。
- また、DHCP 機能搭載のルータであれば、ネットワークの設定を簡単にすることができます。
- ISP(インターネットサービスプロバイダ)と契約している場合(後述モデムの項参照)には、契約する ISP 業者が推奨するルータをご使用ください。

これらのルータについてはお買い求めの販売店または契約されている ISP にご相談ください。

■ イーサネットケーブル（CAT5）

ネットワークを構成する機器同士を実際につなぎ合わせるのが、このイーサネットケーブルです。イーサネットケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルがあります。

- 本機では CAT-5 に適合したイーサネットストレートケーブルを使用します。

イーサネットケーブルについてはお買い求めの販売店にご相談ください。

■ ネットワークサーバー（パソコンなど / ネットワークサーバー使用時）

音楽ファイルを入れておいて、再生時に本機に曲を提供する機器です。

- 本機で使用する際に必要な条件は、ネットワークサーバーとして使用する機器によって異なります。
- 本機は、Windows Media® Player11、12、DLNA 準拠サーバーに対応しています。
- 本機で音楽ファイルを快適に再生するための条件は、使用するネットワークサーバー(パソコンの性能)に依存します。それぞれの機器使用については、各取扱説明書をご覧ください。

■ モデム（インターネットラジオ使用時）

ホームネットワーク(LAN)とインターネットを接続する機器です。

モデムにはインターネットと接続する形式によってさまざまな種類があります。

また、インターネットに接続するには ISP(インターネットサービスプロバイダ)というインターネットへの接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。

インターネット接続には、契約する ISP 業者が推奨するモデムをご使用ください。

1 台でルータとモデムの機能を併せ持つ機器もあります。

以上のネットワーク機器のうち、NET 機能「ネットワークサーバー」を使用するには、ルータ、イーサネットケーブル、ネットワークサーバーが必要になります。

NET 機能「インターネットラジオ」を使用するには、ルータ、イーサネットケーブル、モデム(および ISP との契約)が必要になります。

サーバーについて

■ ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生

本機は、Windows Media® Player 11、12、DLNA 準拠サーバーに対応しています。

ネットワークサーバーは本機と同じネットワークに接続していなければなりません。

1 フォルダにつき 20000 曲まで、フォルダは 16 階層まで対応しています。

ご注意

メディアサーバーの種類によっては、本機から認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。

■ リモート再生

Windows Media® Player 12

DLNA 1.5 準拠のネットワークサーバー、コントローラー機器

※ 設定方法は使用するネットワークサーバーやコントローラー機器によって異なります。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

！ヒント

Windows 7 では、Windows Media® Player 12 が標準でインストールされています。詳しくは、マイクロソフト社のホームページをご覧ください。

Windows Vista® では Windows Media Player 11 が標準でインストールされています。

Windows Media® Player 11 for Windows XP はマイクロソフト株式会社のウェブサイトから無料でダウンロードできます。

詳しくは、マイクロソフト株式会社のホームページをご覧ください。

USB ストレージについて

- 本機では USB Mass Storage Class 規格に対応している USB ストレージを使用できます。
- USB ストレージのフォーマットは、FAT16、FAT32 に対応しています。
- USB ストレージがパーティションで区切られている場合、本機では複数の USB ストレージとして認識されます。
- 本機はハブおよびハブ機能付き USB 機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- 1 フォルダにつき 20000 曲まで、フォルダは 16 階層まで対応しています。

対応音声フォーマット

本機で再生できる音楽ファイルのフォーマットは次の通りです。

- 下記のフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。
  たとえば、Windows Media® Player11 をお使いの場合、パソコンに入っているすべての音楽ファイルが再生できるわけではなく、Windows Media® Player 11 のライブラリに登録されている音楽ファイルのみが再生できます。
- VBR(可変ビットレート)で記録されたファイルを再生した場合、再生時間が正しく表示されないことがあります。

ご注意

リモート再生は、FLAC および Ogg Vorbis には対応していません。

■ MP3

- 対応フォーマット：MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer-3
- 対応サンプリングレート：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- 対応ビットレート：8 ～ 320 kbps および VBR
- チャンネル数：2
- MP3 ファイルのファイル名拡張子は「.mp3」または「.MP3」です。

■ WMA

- 著作権保護されたファイルは、再生できないことがあります。
- 対応サンプリングレート：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- 対応ビットレート：5 ～ 320 kbps および VBR
- チャンネル数：2
- WMA Pro（プロ）/Voice（ボイス） 非対応
- WMA ファイルのファイル名拡張子は「.wma」または「.WMA」です。

■ WMA Lossless（ロスレス）

- 対応サンプリングレート：44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 対応ビットレート：5 ～ 320 kbps および VBR
- 量子化ビット：16 bit（ビット）、24 bit
- チャンネル数：2
- WMA ファイルのファイル名拡張子は「.wma」または「.WMA」です。

■ WAV

WAV ファイルは非圧縮の PCM デジタルオーディオを含みます。

- 対応サンプリングレート：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 量子化ビット：8 bit、16 bit、24 bit
- チャンネル数：2
- WAV ファイルのファイル名拡張子は「.wav」または「.WAV」です。

■ AAC

- 対応フォーマット：MPEG-2/MPEG-4 Audio
- 対応サンプリングレート：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 対応ビットレート：8 ～ 320 kbps および VBR
- チャンネル数：2
- AAC ファイルのファイル名拡張子は「.aac」、「.m4a」、「.mp4」、「.3gp」、「.3g2」、「.AAC」、「.M4A」、「.MP4」、「.3GP」または「.3G2」です。

■ FLAC

- 対応サンプリングレート：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 量子化ビット：8 bit、16 bit、24 bit
- チャンネル数：2
- FLAC ファイルのファイル名拡張子は「.flac」または「.FLAC」です。

■ Ogg（オッグ） Vorbis（ボルビス）

- 対応サンプリングレート：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- 対応ビットレート：48 ～ 500 kbps および VBR
- チャンネル数：2
- Ogg ファイルのファイル名拡張子は「.ogg」または「.OGG」です。

■ LPCM (Linear（リニア） PCM)

- 対応サンプリングレート：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 量子化ビット：8 bit、16 bit、24 bit

* ネットワーク経由での再生のみに対応しています。

DLNA について

DLNA とは、Digital（デジタル） Living（リビング） Network（ネットワーク） Alliance（アライアンス） の略称で、ホームネットワーク（LAN）によってパソコンやゲーム機、デジタル家電を相互に接続し、音楽や画像、動画などのデータをやりとりするための標準化を進めている団体の名称です。本機は、DLNA ガイドライン V1.5 に準拠しています。

オンキヨー製ドックを使って iPod/iPhone を操作する

オンキヨー製ドックを接続する

ドックは別売りです。
ドックの最新情報については、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.jp.onkyo.com
ご使用になる前に、必ずご使用の iPod/iPhone を iTunes 経由で最新のバージョンにアップデートしてください。
対応している iPod/iPhone のモデルについては、オンキヨー製ドックの取扱説明書をご覧ください。

UP-A1 ドック

UP-A1 ドックを使うと、iPod/iPhone に保存した音楽を本機で再生し、すばらしいサウンドを楽しむことができます。

本機のリモコンで、iPod/iPhone の基本的な操作を行うことができます。

本機が動作するまでに数秒かかる場合があり、最初の曲の冒頭の数秒が聴こえないことがあります。

オートパワーオン機能

本機がスタンバイ状態のときに iPod/iPhone を再生すると、本機は iPod/iPhone を接続した入力に切り換わり、iPod/iPhone の再生が始まります。

ダイレクトチェンジ動作

本機が他の入力のとき iPod/iPhone を操作して再生すると、iPod/iPhone を接続した入力に自動的に切り換わり、iPod/iPhone の再生をします。

本機リモコン操作

本機のリモコンで、iPod/iPhone の基本的な操作を行うことができます（→ p. 39）。

操作に関する注意

- iPod/iPhone との連動動作は、iPod/iPhone の機種や世代により対応していないものがあります。
- 他の入力を選択する前に、iPod/iPhone の再生を停止して、本機が誤って iPod/iPhone 入力ソースを選ばないようにしてください。
- iPod/iPhone に他のアクセサリーが接続されていた場合、本機は適切に入力を選ぶことができないことがあります。
- iPod/iPhone を UP-A1 ドックにセットしている間は、音量調節は機能しません。ドックにセットされた iPod/iPhone の音量調節を行ったときは、ヘッドホンを再び接続する前に、音量が高くないか確かめてください。
- 再生中の iPod/iPhone を UP-A1 ドックにセットした場合は、オートパワーオン機能は働きません。

■ iPod/iPhone のアラーム機能を使う

iPod/iPhone のアラーム機能で、iPod/iPhone と本機を設定した時間に自動的に起動することができます。本機の入力は、自動的に PORT（ポート）に設定されます。

ご注意

- この機能を使用するには、iPod/iPhone ドックに対応した iPod/iPhone で、iPod/iPhone ドックは本機に接続されていなければなりません。
- この機能は、Standard Mode でないと動作しません（→ p. 29）。
- この機能を使用するときは、必ず本機の音量を適当な音量に設定してください。
- iPod または iPhone 内蔵の効果音を鳴らす設定の場合には、連動しません。

■ iPod/iPhone のバッテリーを充電する

本機の UNIVERSAL（ユニバーサル） PORT（ポート） 端子に iPod /iPhone ドックを接続し、本機がオンまたはスタンバイ状態で、iPod/iPhone ドックに iPod/iPhone をセットすると、iPod/iPhone のバッテリーを充電します。

ご注意

充電機能を使用すると、スタンバイ状態での消費電力が増加します。

■ 本機に表示されるメッセージについて

PORT（ポート） Connecting（コネクティング）

ドックとの接続をチェックしています。

PORT Not（ノット） Support（サポート）

接続されたドックはサポートされていません。

PORT UP-A1

UP-A1 ドックに iPod/iPhone がセットされました。

接続を確認したときは、本機表示部に約 8 秒間「UP-A1」と表示されます。

ご注意

本機の表示部に何も表示されない場合は、iPod/iPhone の接続が正しくされているかご確認ください。

RI ドック

RI ドックを使うと、簡単な操作で、iPod に保存した音楽をすばらしいサウンドで再生したり、また、本機のリモコンで、ソファにゆったり座ったまま iPod を操作することが可能です。

操作をはじめる前に
- RI ドックは、RI ケーブルで本機に接続してください(→ p. 17)。
- RI ドックの RI MODE(モード) 切換スイッチを「HDD」または「HDD/DOCK(ドック)」に切り換えてください。
- 本機の入力表示を「DOCK」にしてください(→ p. 19)。

■ システム機能

システムオン

本機の電源を入れると、自動的に RI ドック、iPod の電源が入ります。また、RI ドック、iPod の電源が入っている場合は、[⏻ON/STANDBY]ボタンを押すと本機の電源が入ります。

オートパワーオン機能

本機がスタンバイ状態のときに iPod を再生すると、本機は iPod を接続した入力に切り換わり、iPod の再生が始まります。

ダイレクトチェンジ動作

本機が他の入力のとき iPod を操作して再生すると、iPod を接続した入力に自動的に切り換わり、iPod の再生をします。

本機リモコン操作

本機のリモコンで、iPod の基本的な操作を行うことができます。

iPod アラーム機能

iPod のアラーム機能を利用して再生を開始すると、指定した時刻に本機の電源が入り、iPod が入力ソースに選ばれます。

ご注意
- 映像の再生中やアラーム音を再生する設定をしている場合は、連動操作は機能しません。
- iPod に他のアクセサリーが接続されていた場合、本機は適切に入力を選べないことがあります。

操作に関するご注意
- 本機の[VOLUME]で、再生音量を調整してください。
- iPod/iPhone が RI ドックにセットされている間は、音量操作は効果がありません。ドックにセットされた iPod/iPhone の音量調節を行ったときは、ヘッドホンを再び接続する前に、音量が高くないか確かめてください。

ご注意

第五世代の iPod と iPod nano では、再生中はクリックホイールが使えません。

iPod/iPhone を操作する

詳しくは、ドックの取扱説明書をご覧ください。

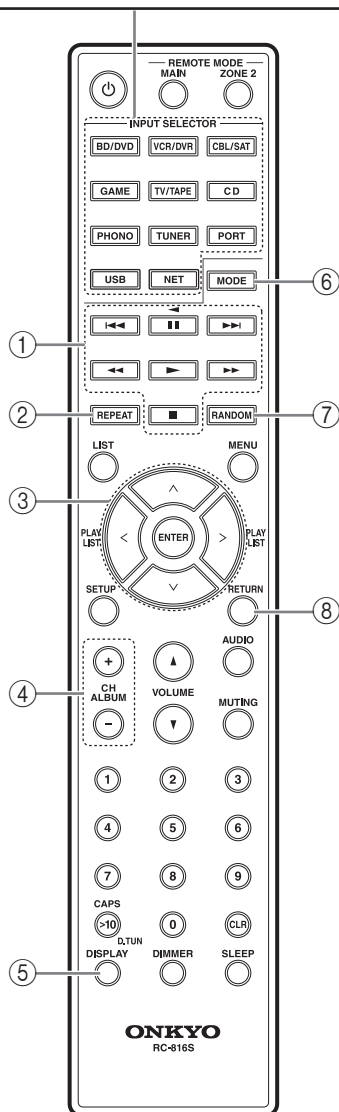
■ UP-A1 ドック

入力ソースに「PORT」を選ぶと、iPod/iPhone を操作できます。

■ RI ドック

- RI ドックの RI MODE スイッチを「HDD」または「HDD/DOCK」に設定してください。
- 入力ソースに「DOCK」を選ぶと、iPod を操作できます。

オンキヨー製ドックを使って iPod/iPhone を操作する

最初に該当する INPUT SELECTOR ボタンを押してください。
RI ドックを使用する場合は、入力表示を「DOCK」に変更（→ p. 19）した端子の INPUT SELECTOR を選んで押してください。

✓: 使用できるボタン

	オンキヨー製ドック / ボタン名	UP-A1	RI ドック
①	►, II, ■, ◄◄, ►►, I◄◄, ►►I	✓	✓
②	REPEAT	✓	✓
③	∧/∨/</>, ENTER	✓	✓
	PLAY LIST </>	✓ *1	✓
④	ALBUM +/–	✓	✓
⑤	DISPLAY *2	✓	✓
⑥	MODE	✓ *3	
⑦	RANDOM	✓	✓
⑧	RETURN	✓	

*1 UP-A1 が Extended Mode で UNIVERSAL PORT 端子に接続されている場合、[PLAY LIST] ボタンはページ移動ボタンとして働きます。
ページモードでは、曲名リスト、アーティストリストなどの項目が非常に多い場合でも、目的の曲をすばやく見つけることができます。

*2 [DISPLAY] ボタンを押すと、バックライトが 30 秒間点灯します。

*3 UP-A1 が Extended Mode で UNIVERSAL PORT 端子に接続されている場合、[MODE] ボタンを押して、以下のモードを変更してください。

Standard Mode

表示部には何も表示されませんが、iPod/iPhone のディスプレイを見ながら内容を選択および操作できます。ビデオ再生はこのモードでのみ可能です。

Extended Mode

プレイリスト（アーティスト、アルバム名、曲名など）が表示部に表示され、表示部を見ながら曲の検索と選択ができます。

ご注意

- iPod/iPhone の機種・世代または RI ドックによっては、特定のボタンが意図したとおりに機能しない場合もあります。
- iPod/iPhone および RI ドックの操作の詳細については、取扱説明書をご覧ください。

ご注意

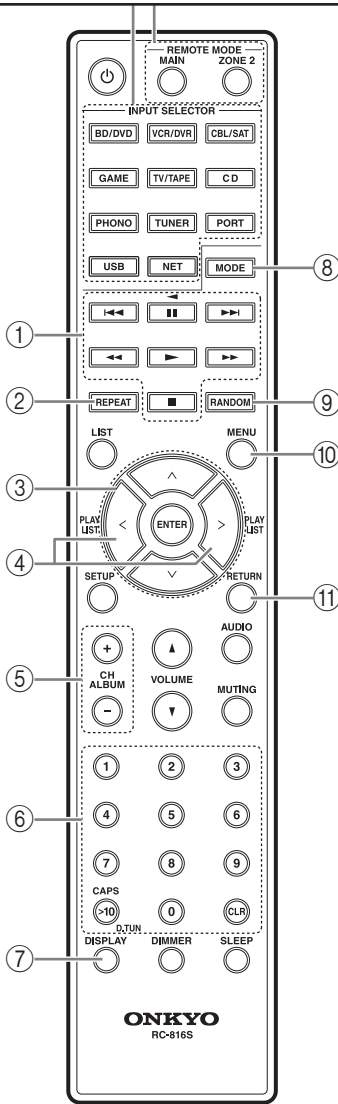
Extended Mode では、以下のようになります。

- iPod/iPhone を直接操作できません。
- iPod/iPhone 内のコンテンツを取得するのに時間がかかることがあります。
- ビデオをテレビで表示することはできません。

本機のリモコンで他のオンキヨー RI 製品を操作する

本機のリモコンを使って、下記のオンキヨーRI 製品を操作できます。

REMOTE MODE で操作する機器がメインルーム（MAIN）かゾーン 2（ZONE 2）かを選択し、操作する機器の INPUT SELECTOR を押します。

✓: 使用できるボタン

ボタン名 ＼ オンキヨー RI 製品		ユニバーサルポート	RI ドック	CD プレーヤー	カセットテープデッキ *1
①	►, II, ■, ◄◄, ►►, I◄◄, ►►I	✓	✓	✓	✓*2
②	REPEAT	✓	✓	✓	
③	∧/∨/</>, ENTER	✓	✓		
④	PLAY LIST	✓	✓		
⑤	CH/ALBUM +/–	✓			
⑥	数字 1 ～ 9, 0	✓	✓	✓	
	数字 +10	✓	✓	✓	
⑦	DISPLAY	✓	✓	✓	
⑧	MODE	✓			
⑨	RANDOM	✓	✓	✓	
⑩	MENU *3	✓			
⑪	RETURN	✓			

*1 ダブルカセットデッキを使用する場合は、カセット B の操作になります。

*2 II(一時停止)はリバース再生になります。[I◄◄]/[►►I]は動作しません。

*3 UNIVERSAL PORT 端子に接続した機器を使用しているときは、[SETUP] ボタンとして働きます。

ご注意

iPod/iPhone の操作については「オンキヨー製ドックを使って iPod/iPhone を操作する」をご覧ください(→ p. 38)。

ご注意

製品によっては動作しないボタンがあります。また、製品を操作できない場合もあります。

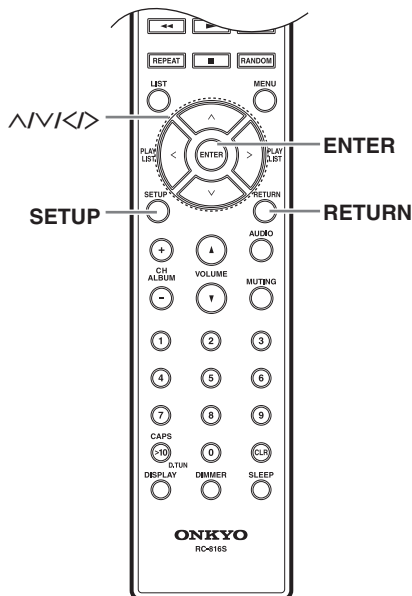
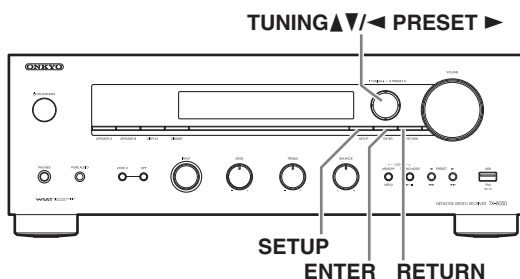
設定をする

設定メニューの操作手順

ここでは設定メニューの変更のしかたを「intelli Volume」を例に説明します。

Intelli Volume

本機のボリューム位置が同じでも、接続した機器によって再生するときの音量に差が出ることがあります。聴いていて音量の差を感じたときは[<]/[>]ボタンで調整してください。

他の機器と比べて、音量が大きい場合は[<]ボタン、小さい場合は[>]ボタンを押して調整します。

1 本機の電源を入れる

2 リモコンの[SETUP]ボタンを押す

設定メニューが表示されます。

3 [∧]/[∨]ボタンを押し、「2. Souce Setup」を選び、[ENTER]ボタンを押す

```
2.Source Setup
```

4 [∧]/[∨]ボタンを押し、「Intelli volume: 0 dB」を選ぶ

```
IntelliVolume
      :    0dB
```

5 [<]/[>]ボタンを押し、「-2dB」を選ぶ

```
IntelliVolume
      :   -2dB
```

ここでは一例として「-2dB」にしています。実際の設定では、音量差が無くなる値に設定してください。

6 リモコンの[SETUP]ボタンを押す

セットアップが完了し、元の表示に戻ります。

!ヒント

- 上記の操作は、本体の [SETUP]、TUNING[▲]/[▼]、PRESET[◄]/[►]、[ENTER] ボタンでも行えます。
- [RETURN] ボタンで直前の操作メニューに戻ることができます。

設定メニュー

1. Digital Audio Input

各デジタル入力端子は、初期設定で以下の表のようにそれぞれの機器に割り当てられています。

接続した機器が、デジタル入力端子の初期設定と異なる場合は、設定を変更する必要があります。

たとえば、OPTICAL IN 1 端子に、CD プレーヤーなどを接続している場合、「CD」を「OPTICAL1」に設定します。

初期設定は以下のとおりです。

入力	初期設定
BD/DVD	COAXIAL 1
VCR/DVR	-----
CBL/SAT	COAXIAL 2
GAME	OPTICAL 1
TV/TAPE	-----
CD	OPTICAL 2
PHONO	-----
PORT	-----

COAXIAL1、COAXIAL2、OPTICAL1、OPTICAL2：

機器を接続している、デジタル音声入力端子に対応するデジタル音声入力を選びます。

-----:

機器が、アナログ音声入力に接続されている場合に選びます。

ご注意

- デジタル入力（光および同軸）に入力できる PCM 信号のサンプリングレートは、32/44.1/48/88.2/96kHz/16、20、24 ビットです。
- iPod/iPhone をセットした iPod/iPhone ドック UP-A1 を UNIVERSAL PORT 端子に接続している場合は、PORT 入力に入力端子を割り当てることができません。

2. Source Setup

Intelli Volume：

42 ページをご覧ください。

Intelli Volume は Zone 2 には働きません。

Name：

［INPUT］セレクターで選択した入力で表示される名前を変更できます。

最初に名前を変えたい入力を［INPUT］セレクターで選び、次にこの設定メニューで名前を変更します。

名前は［<］/［>］ボタンで次の順に変わっていきますので、お好きな名前に設定してください。

– – – → Blu-ray → DVD → HD DVD → VCR → DVR → Tivo → CableSTB → SAT STB → PS3 → Wii → Xbox → PC → TV → CD → TAPE → iPod → – – –

Name Edit：

AM/FM 放送をプリセットチャンネルで受信しているとき、プリセットに名前を付けることができます。

詳しくは p.27「名前の編集」をご覧ください。

3. Hardware Setup

Speaker Impedance：

詳しくは p.13「スピーカーインピーダンスの設定」をご覧ください。

Auto Standby：

「On」に設定したとき、映像 / 音声入力がない状態で本機を 30 分間操作しないでいると、自動的にスタンバイ状態へ移行します。

初期設定は「Off」です。

ご注意

- この設定を「On」にした場合、ソースによっては、再生中にスタンバイ状態に移行することがあります。
- Zone 2 がオンの場合は、この機能は働きません。

UP-A1 Charge Mode：

本機がスタンバイ状態時の iPod/iPhone への電源供給の設定を指定できます。

Auto:

iPod/iPhone の充電が完了すると、充電を終了します。

On:

iPod/iPhone の充電が完了しても、充電をし続けます。

Off:

iPod/iPhone は充電されません。

初期設定は［Auto］です。

ご注意

以下の場合、この設定を選ぶことができません:

- iPod/iPhone がセットされている UP-A1 ドックが接続されていない。
- ドックにセットされている iPod/iPhone のモデルが対応していない。
- 「チャージモード」を「オン」または「自動」に設定している場合、スタンバイ状態時に「SLEEP」表示がうす暗く点灯します。この場合、スタンバイ状態での消費電力が増加します。

4. Zone 2 Setup

Zone2 Out

ゾーン 2 スピーカーを音量調整機能がないアンプに接続する場合、「Zone2 Out」設定を「Variable」に設定します。本機で Zone2 の音量、バランスとトーンの設定ができます。

Fixed(固定):

Zone2 の音量は Zone2 用のアンプで調整します。

Variable(可変):

Zone2 の音量を本機で調整することができます。

初期設定は[Fixed]です。

Z2 Bass

この設定では Zone 2 に接続したスピーカーの低音域の増幅・減衰を設定します。

設定値は +10dB 〜 -10dB で 2dB ステップで可変します。

初期設定は[0dB]です。

Z2 Treble

この設定では Zone 2 に接続したスピーカーの高音域の増幅・減衰を設定します。

設定値は +10dB 〜 -10dB で 2dB ステップで可変します。

初期設定は[0dB]です。

Z2 Balance

この設定では Zone 2 に接続したスピーカーの左右バランスを設定します。

初期設定は[0]です。

5. Network Setup

ここでは手動でネットワークの設定を行う場合の設定方法を説明しています。

DHCP でホームネットワーク(LAN)を構築している場合は、「DHCP」を「Enable(有効)」にすれば、ホームネットワーク(LAN)で使用できるようになります。(初期設定では、この状態になっています。)

各機器に固定 IP アドレスを割り当てている場合は、「IP アドレス」で本機に IP アドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなどお使いのホームネットワーク(LAN)に関する情報を入力する必要があります

ご注意

Setup メニューの表示は、本機の起動後数十秒後に有効になります。

MAC Address

本機の MAC アドレスを確認できます。この値は機器固有のもののため、変更することはできません。

DHCP

本機の DHCP クライアント機能の有効 / 無効を設定します。

DHCP でホームネットワーク(LAN)を構築している場合は「Enable(有効)」に、ホームネットワーク(LAN)に接続されている各機器に固定 IP アドレスを割り当てている場合は「Disable(無効)」に設定してください。

初期設定は[Enable]です。

ご注意

DHCP を「Disable」に設定した場合は、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway」、「DNS Server」の設定が必要です。

IP Address

本機の IP アドレスを表示または設定します。DHCP が「Enable(有効)」な場合、この値は自動的に設定され、変更できません。

この値を設定する際、ホームネットワーク(LAN)に接続されている他の機器とアドレスが重複しないよう、ご注意ください。設定方法は次のとおりです。

アドレス設定方法

1. 設定する項目(IP アドレス、サブネットマスクなど)を選択し、[ENTER] ボタンを押します。
2. [<]/[>] ボタンを使って数値を選択し、[ENTER] ボタンで入力します。3 桁入力すると、自動的に次のセクションに移動します。入力を誤った場合は、[∧]/[∨] ボタンで誤入力したセクションを選択し、数値を入力し直してください。
3. 入力する数値が 3 桁に満たない場合は、[∧] ボタンで次のセクションに移動します。
4. すべてのセクションの入力が終わったら、[RETURN] ボタンを押して「Save」を選択します。

Subnet Mask

ホームネットワーク(LAN)のサブネットマスクを表示または設定します。DHCP が有効な場合、この値は自動的に設定され、変更できません。アドレスの設定方法は、IP Address と同じです。

Gateway

ホームネットワーク(LAN)のゲートウェイアドレスを表示または設定します。DHCP が有効な場合、この値は自動的に設定され、変更できません。アドレスの設定方法は、IP Address と同じです。

DNS Server

ホームネットワーク(LAN)の DNS サーバー(プライマリ)を表示または設定します。DHCP が有効な場合、この値は自動的に設定され、変更できません。アドレスの設定方法は、IP Address と同じです。

Proxy URL

プロキシサーバーの URL を入力します。URL が不明な場合は、ご使用の ISP にお問い合わせください。入力方法は「Name Edit」と同じです。詳しくは p.27「名前の編集」をご覧ください。

Proxy Port

この設定は上記「プロキシ URL」設定が入力されているときだけ機能します。プロキシサーバーのポート番号を入力します。ポート番号が不明な場合は、ご使用の ISP にお問い合わせください。入力方法は「アドレス設定方法」と同じです(→ p. 44)。

Network Control

外部コントローラーからの本機のコントロールを許可するかどうか設定します。「Enable(有効)」にすると、外部コントローラーから本機をコントロールできるようになり、「Disable(無効)」にするとコントロールを禁止します。

初期設定は[Disable]です。

ご注意

「Enable(有効)」に設定すると、「NET」表示がうす暗く点灯し、スタンバイ状態での消費電力が増加します。

Control Port

この設定は上記「Network Control」設定が有効のときだけ機能します。外部コントローラーからのコントロール信号を受けるポート番号を設定します。外部コントローラー側の設定に合わせてください。49152 ～ 65535 の間で設定してください。

> 設定を終了するとき、設定値に変更があると「SAVE [ENTER]:[SELECT]」と表示されます。変更を保存する場合は [ENTER] ボタンを押してください。設定を最初からやり直す場合は [RETURN] ボタンを押してください。

6. Firmware Update

詳しくは p.49「ファームウェアの更新について」をご覧ください。

オンキヨーホームページからご案内があった場合のみ実行してください。最新の情報はオンキヨーホームページをご覧ください。

ファームウェアのアップデートには約 5 分かかります。ユニバーサルポート端子にドックが接続されていない場合は、ユニバーサルポートオプションドックのファームウェアのアップデートは実行できません。

ご注意

Setup メニューの表示は、本機の起動後数十秒後に有効になります。

Version

現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

Receiver

via NET:

本機のファームウェアをインターネット経由でアップデートすることができます。アップデートを実行するときは、インターネットへの接続を確認してください。

via USB:

アップデート用ソフトウェアを保存した USB メモリーを、本機の USB ポートに接続してアップデートすることができます。

アップデート中は本機の電源をオフにしないでください。

Universal Port

via NET:

ユニバーサルポートオプションドックのファームウェアをインターネット経由でアップデートすることができます。アップデートを実行するときは、インターネットへの接続を確認してください。

via USB:

アップデート用ソフトウェアを保存した USB メモリーを、本機の USB ポートに接続してアップデートすることができます。

ファームウェアをアップデート中は本機の電源をオフにしないでください。

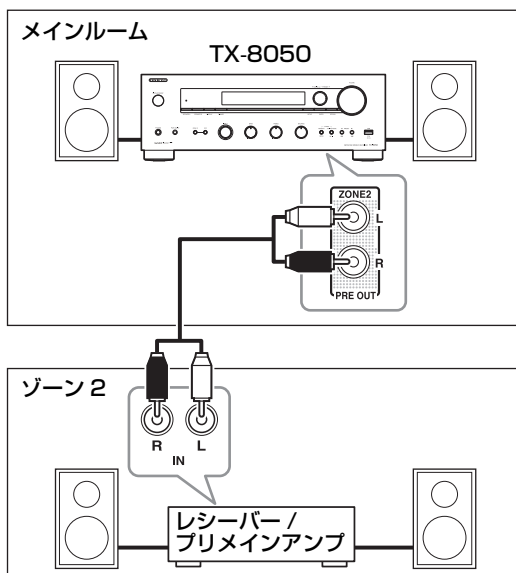
ご注意

UNIVERSAL PORT 端子にドックが接続されていないときは、アップデートは実行されません。

別室ゾーン 2 で音楽を鑑賞する

別室用のスピーカーやアンプを接続して異なるソースをお楽しみいただくことができます。

ゾーン 2 接続と設定方法

- メインルームで再生をしながら、別室で異なるソースを再生できます。
- 音量は別室で使用するプリメインアンプまたはレシーバーで調整してください。音量調節できないパワーアンプと接続するときは、本機で調整することもできます。

1 別室で使用するプリメインアンプまたはレシーバーを本機に接続する

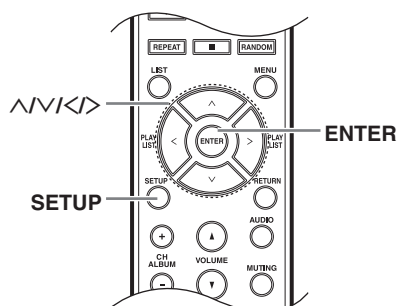
本機の ZONE 2 PRE OUT L/R 端子にプリメインアンプまたはレシーバーの音声入力端子を接続してください。

2 別室で使用するスピーカーを別室のプリメインアンプまたはレシーバーのスピーカー端子に接続する

3 セットアップメニューの設定をする (→ p. 44)

！ヒント

- 音量調整できないパワーアンプと接続するときは、「Zone2 Out」の設定を「Variable（可変）」にすると、本機で音量を調整することができます（→ p. 44）。
- プリメインアンプやレシーバーと接続するときは、お買い上げ時の設定のままでご使用いただけます。

ゾーン出力の設定をする

1 [SETUP] ボタンを押す

設定メニューが表示されます。

2 [∧]/[∨]ボタンを押し、「4. Zone2 Setup」を選び、[ENTER]ボタンを押す

3 [<]/[>]ボタンを押し、設定値を選ぶ

Fixed（固定）:

Zone2 の音量は Zone2 用のアンプで調整します。

Variable（可変）:

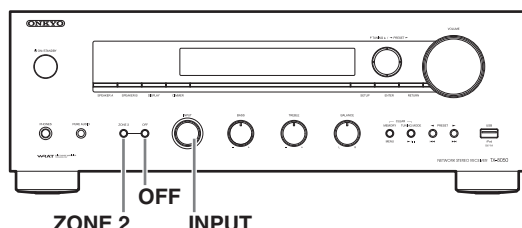
Zone2 の音量を本機で調整することができます。

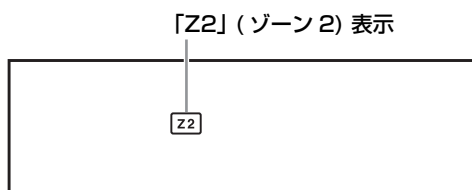
4 リモコンの[SETUP]ボタンを押す

セットアップが完了し、元の表示に戻ります。

別室 (ゾーン) で音楽を鑑賞する

ここでは、ゾーン 2 のオン･オフの方法、入力ソースの設定の方法、音量の調整の方法を説明しています。

本体で操作する

1 [ZONE 2] ボタンを押し、8 秒以内に [INPUT] セレクターでゾーン 2 で再生するソースを選ぶ

「Z2」(ゾーン 2)表示が点灯します。

ゾーン 2 でお聴きになるソースをメインルームと同じソースにするには、[ZONE 2] ボタンをくり返し押し、「Zone2 Selector: Source」を表示します。

Zone2 Selector
: Source

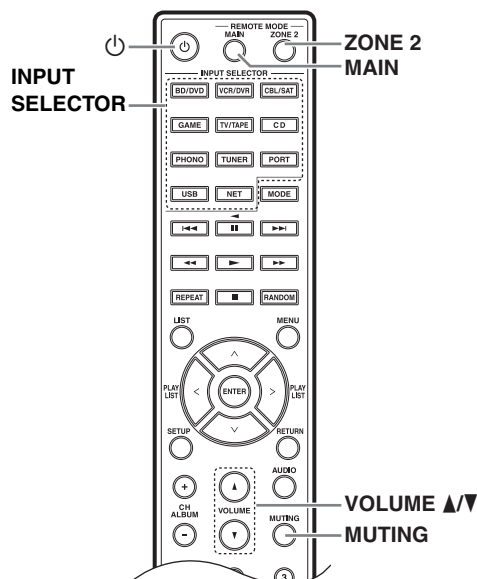
AM/FM 放送はメインルームとゾーン 2 で別々の放送局を聴くことはできません。

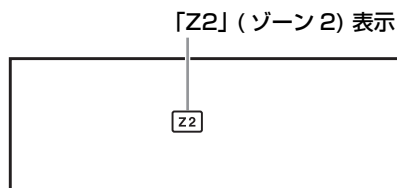
ネットワークオーディオと USB フラッシュドライブの音楽は、メインルームとゾーン 2 で別々のものを聴くことはできません。

2 ゾーン2を終了するには、ZONE 2 [OFF] ボタンを押す

ご注意

- ゾーン 2 では、デジタル信号の再生はできません。アナログ信号のみ再生できます。
- ゾーン 2 への出力がオンになっているときは、連動機能および RI ダイレクトチェンジ機能は働きません。

リモコンで操作する

1 [ZONE 2] ボタンを押してから、[⏻] ボタンを押す

「Z2」(ゾーン 2)表示が点灯します。

2 [INPUT SELECTOR] ボタンを押して入力を選ぶ

AM/FM の切り換えは [TUNER] ボタンをくり返し押します。

AM/FM 放送はメインルームとゾーン 2 で別々の放送局を聴くことはできません。

ネットワークオーディオと USB フラッシュドライブの音楽は、メインルームとゾーン 2 で別々のものを聴くことはできません。

3 ゾーン2を終了するには、[⏻] ボタンを押す

音量を調節する

本体の[ZONE 2]ボタンを押してから、[VOLUME]コントロールで調節します。

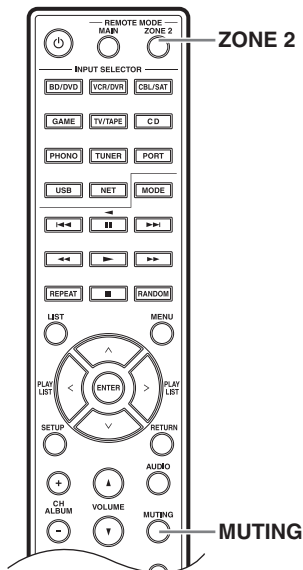
リモコンの場合は、[ZONE 2]ボタンを押してから、VOLUME[▲]/[▼]ボタンで調節します。

音量を一時的に小さくする

リモコンの[ZONE 2]ボタンを押してから、[MUTING]ボタンを押す

消音を解除するには[ZONE 2]ボタンを押してから、[MUTING]ボタンを押します。

ご注意

- 音量を操作することでも消音を解除できます。
- 「Zone2 Out」の設定が「Fixed(固定)」のときは、音量、トーン、バランスの調整はできません。
- メインルームの音量調節、消音を行うにはリモコンの REMOTE MODE [MAIN]ボタンを押してから、各操作を行います。

ゾーン 2 で選択されているソースを確認する

レシーバー本体の[ZONE 2]ボタンを押します。

現在選択されているゾーン 2 のソースが表示されます。

ファームウェアの更新について

ファームウェアの更新には、次のような方法があります。お客様の環境に応じて、いずれかの方法で更新してください。操作を始める前に、更新手順をよくお読みください。

ファームウェアの更新には 5 分程度かかります。

■ ネットワーク経由で更新する

インターネット接続が必要です。

■ USB 経由で更新する

USB メモリーなどの USB ストレージをご用意ください。32MB 以上の容量が必要です。

ご注意

- アップデートの前に、ネットワークの接続を確認してください。
- アップデート中は絶対に本機に接続されているケーブルや機器に触らないでください。
- アップデート中は絶対に本機の接続を外したり電源を落としたりしないでください。
- アップデート中は PC から本機にアクセスしようとしないでください。
- USB カードリーダーに挿入したメディアは、この機能で使えないことがあります。
- USB ストレージがパーティションで区切られている場合、本機では複数の USB ストレージとして認識されます。
- USB ストレージやその内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- USB ストレージによっては、正しく内容を読み込めなかったり、電源が正しく供給されなかったりする場合があります。
- USB ストレージの使用に際して、データの損失や変更、ストレージの故障などが発生しても弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- USB ストレージに AC アダプターが付属している場合は、AC アダプターをつないで家庭用電源でお使いください。
- 本機は、ハブおよびハブ機能付き USB 機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- 本機は、セキュリティ機能付き USB メモリーに対応していません。

免責事項

本プログラムおよび付随するオンラインドキュメンテーションは、お客様の責任においてご使用いただくために提供されます。弊社は、法理に関わらず、また不法行為や契約から生じるかを問わず、本プログラムまたは付随するオンラインドキュメンテーションの使用に際して生じたいかなる損害および請求に対して責任を負うものではなく、賠償することもありません。

弊社は、いかなる場合においても、補償、弁済、損失利益または逸失利益、データの損失その他の理由により生じた損害を含む(ただしこれらに限定されない)、特別損害、間接的損害、付随的又は派生的損害について、お客様または第三者に対して一切の責任を負いません。

最新の更新情報につきましては、弊社ウェブサイトをご覧ください。

ネットワーク経由でのファームウェア更新手順

後面パネルのネットワーク接続を利用してファームウェアをアップデートできます。

ご注意

- 本機の電源が入っていることと、LAN ケーブルが本機の後面パネルに接続されていることを確認してください。
- アップデート中は絶対に本機の接続を外したり電源を切ったりしないでください。
- アップデート中は PC から本機にアクセスしようとしないでください。
- アップデート中は LAN ケーブルを抜き差ししないでください。
- アップデート完了まで 5 分程度かかります。
- アップデート完了後も、お客様が行った諸設定は保持されます。

ファームウェアの更新を始める前に

- イーサネットネットワークに接続されたコントロール機器の電源をオフにしてください。
- ゾーン 2 をオフにしてください。
- 再生中のインターネットラジオ、iPod/iPhone、USB、または、サーバーなどを止めてください。

更新手順

1 リモコンの[SETUP]ボタンを押す

設定メニューが表示されます。

2 [∧]/[∨]ボタンを押し、「6. Firmware Update」を選び、[ENTER]ボタンを押す

現在設定されているファームウェアバージョンが表示されます。

ご注意

ファームウェア設定メニューの表示には数十秒かかる場合があります。

3 [∧]/[∨]ボタンを押し、「Via NET」を選び、[ENTER]ボタンを押す

4 [∧]/[∨]ボタンを押し、「Update」を選び、[ENTER]ボタンを押す

本機はアップデートを開始します。

アップデートの進行状況は本体表示部で確認できます。

5 アップデートが完了すると「Completed!」というメッセージが本機の表示部に表示されます。

6 前面パネルの[⏻ON/STANDBY]ボタンを押し、本機の電源を切る

このときリモコンの[⏻]ボタンは使用しないでください。

本機の電源が再度自動的に入ります。

これでアップデートは完了です。本機は最新のファームウェアに更新されました。

トラブルシューティング

ケース 1：

本機の表示部で「No Update」と表示されたら、ファームウェアが既に更新済みであることを示しています。アップデートの必要はありません。

ケース 2：

エラー時は、本機の表示部で「Error!! *-** No media」と表示されます。(アスタリスクは表示される英数字を表しています。)以下の説明を参照し、確認してください。

■ **エラーコード**
(ネットワーク経由のアップデート中)

エラーコード	エラー内容および対処方法
*-10, *-20	LAN ケーブルが認識できません。 LAN ケーブルを正しく接続してください。 接続方法については、「ネットワーク機器の接続」をご覧ください（→ p. 35）
*-11, *-13, *-21, *-28	インターネットに接続できません。 下記の項目を確認してください。 • IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS サーバーが正しく設定されているか確認してください。 • ルータの電源が入っているか確認してください。 • 本機とルータが LAN ケーブルでつながっているか確認してください。 • ルータの設定を確認してください。設定については、ルータの取扱説明書をご覧ください。 • ネットワーク接続環境によっては、プロキシサーバーを設定する必要があります。設定については、ご利用の回線業者やプロバイダの資料をご確認ください。 • それでもインターネットにつながらない時は、DNS サーバーまたはプロキシサーバーが停止している可能性があります。 サーバーの稼働状況をプロバイダにご確認ください。
その他	もう一度最初からやり直してください。何度か同じエラーが出るようでしたら、エラーコードを末尾に記載のコールセンターまでご連絡ください。

ケース 3：

アップデート中にエラーが発生した場合は、電源コードを抜き、再度接続してファームウェアアップデートを再度行ってください。

ケース 4：

入力ソースが間違っていてエラーが発生した場合は、電源を一旦切り、電源を入れなおしてからファームウェアアップデートを再度行ってください。

ケース 5:

ネットワーク環境がない場合は、巻末に記載のコールセンターへご連絡ください。

USB 経由でのファームウェア更新手順

USB 端子を利用してファームウェアをアップデートできます。

ご注意

- アップデート中は絶対に本機の接続を外したり電源を切ったりしないでください。
- アップデート中は USB ストレージを抜き差ししないでください。
- アップデート中は PC から本機にアクセスしようとしないでください。
- アップデート完了まで 5 分程度かかります。
- アップデート完了後も、お客様が行った諸設定は保持されます。

1 **お使いのパソコンに USB ストレージを接続し、USB ストレージ内にデータがある場合は消去する**

2 **弊社ホームページからパソコンにファームウェア・ファイルをダウンロードする**

ファームウェアには、以下のようなファイル名がついています。

ONKRCV****_************.zip

パソコン上でこのファイルを解凍してください。

下記の 2 つのファイルができます。

ONKRCV****_************.of1

ONKRCV****_************.of2

3 **解凍したファイルを USB ストレージにコピーする**

解凍する前のファイルはコピーしないでください。

4 **上記のUSBストレージを本機のUSB端子に接続する**

5 **本機の電源が入っていることを確認する**

本機がスタンバイ状態のときは、[⏻ON/STANDBY]ボタンを押して本機の表示部を点灯させます。

6 **入力ソースを「USB」にする**

表示部に「Now Initializing」と表示されたのちUSB ストレージ名が表示されます。

USB ストレージを認識するのに 20 ～ 30 秒かかります。

7 **リモコンの[SETUP(セットアップ)]ボタンを押す**

メインメニューが表示部に表示されます。以降の操作は、本体の SETUP、カーソル[∧]/[∨]/[<]/[>]、[ENTER]ボタンで操作することもできます。

8 **[∧]/[∨]ボタンを押し、「6. Firmware Update」を選び、[ENTER]ボタンを押す**

9 **[∧]/[∨]ボタンを押し、「Via USB を選び、[ENTER]ボタンを押す**

10 **[∧]/[∨]ボタンを押し、「Update」を選び、[ENTER]ボタンを押す**

本機はアップデートを開始します。

アップデートの進行状況は本体表示部で確認できます。

11 **アップデートが完了すると「Completed!」というメッセージが本機の表示部に表示されます。表示が出たら、USB ストレージを抜く**

12 **前面パネルの[⏻ON/STANDBY]ボタンを押し、本機の電源切る**

このときリモコンの[⏻]ボタンは使用しないでください。

本機の電源が再度自動的に入ります。

これでアップデートは完了です。本機は最新のファームウェアに更新されました。

トラブルシューティング

ケース 1：

本機の表示部で「No Update」と表示されたら、
ファームウェアが既に更新済みであることを示しています。アップデートの必要はありません。

ケース 2：

エラー時は、本機の表示部で「Error!! *-** No media」と表示されます。（アスタリスクは表示される英数字を表しています。）エラーコードを参照し、確認してください。

■ エラーコード（USB 経由のアップデート中）

エラーコード	エラー内容および対処方法
*-10, *-20	USB ストレージが認識できません。 USB メモリーや USB ケーブルが、本機の USB 端子にしっかりと差し込まれているか確認してください。 USB ストレージで外部電源を供給できる製品は、外部電源をご使用ください。
*-14	USB ストレージのルートフォルダにアップデートファイルが存在しない、お使いの機種と異なるアップデートファイルが使用されている、などが考えられます。 サポートページの案内に従って、もう一度アップデートファイルのダウンロードからやり直してください。 何度か同じエラーが出るようでしたら、エラーコードを巻末に記載のコールセンターまでご連絡ください。
その他	もう一度最初からやり直してください。何度か同じエラーが出るようでしたら、エラーコードを末尾に記載のコールセンターまでご連絡ください。

ケース 3：

アップデート中にエラーが発生した場合は、電源コードを抜き、再度接続してファームウェアアップデートを再度行ってください。

ケース 4：

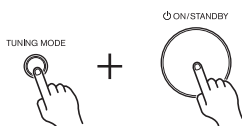
入力ソースが間違っていてエラーが発生した場合は、電源を一旦切り、電源を入れなおしてからファームウェアアップデートを再度行ってください。

困ったときは

まず下記の内容を点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

オンキヨーホームページからも、製品の取り扱い方法やFAQ(よくあるご質問)をお調べいただくことができます。

http://www.jp.onkyo.com/support/

> **! ヒント**
>
> **修理を依頼される前に**
>
> 本機が動作しなくなったり、操作ができなくなったときは、本機のマイコンをリセットして、すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことで、トラブルが解消されることがあります。
>
> 修理を依頼される前に、下記の手順でマイコンをリセットしてみてください。
>
> **電源を入れた状態で本体の[TUNING MODE]ボタンを押したまま、[⏻ON/STANDBY]ボタンを押す**
>
>
>

電源

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから、再度コンセントに差し込んでください。

音声

音声が出力されない / 小さい

- スピーカーの A または B セットが選択されているか確認してください。(→ p. 20)
- 接続コードのプラグは奥まで差し込んでください。(→ p. 15)
- スピーカーコードの(+)/(-)は正しく接続されているか、むき出しの芯線部分がスピーカー端子の金属部分と接触していないか確認してください。(→ p. 11)
- 接続した機器の入力端子 / 出力端子に間違いがないか確認してください。
- 入力が正しく選択できているか確認してください。
- 「MUTING」表示が点灯していませんか。点灯している場合は、[MUTING]ボタンを押して消してください。(→ p. 20)
- MC カートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたは MC ヘッドアンプが必要です。
- 適切なデジタル入力ソースが選ばれていることを確認してください。
- ヘッドフォンを PHONES 端子に接続しているときは、スピーカーから音は出ません。(→ p. 20)
- デジタル入力端子は、PCM にのみ対応しています。PCM 以外の音声信号は、本機で音が出ません。

ノイズが聴こえる

- コード留めを使ってオーディオ用ピンコード、電源コード、スピーカーコードなどを束ねると音質が劣化するおそれがあります。コードを束ねないようにしてください。
- オーディオコードが雑音を拾っている可能性があります。コードの位置を変えてみてください。

トーンコントロールが働かない

- 「DIRECT」表示または[PURE AUDIO]ボタンが点灯していませんか。点灯している場合は、[AUDIO]ボタンをくり返し押すか、または[PURE AUDIO]ボタンを押して消してください。(→ p. 22)

映像

映像が出ない

- すべての接続コードのプラグがしっかり差し込まれていることを確認してください。(→ p. 15)
- 各映像機器が正しく接続されていることを確認してください。
- テレビなど、モニター側での入力画面の切り換えを確認してください。

リモコン

リモコン操作ができない

- 電池を入れたときまたは交換したときは、最初に [MAIN] または [ZONE 2] ボタンを押してから操作してください。
- リモコンが ZONE 2 モードになっています。リモコンで本機を操作する場合は、必ず REMOTE MODE[MAIN]ボタンを押してください。(→ p. 47)

- 電池の極性を間違えて挿入していないか確認してください。（→ p. 7）
- 新しい電池を入れてください。種類が異なる電池、新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。（→ p. 7）
- リモコンと本機が離れ過ぎていないこと、リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物がないことを確認してください。（→ p. 7）
- 本体の受光部が直射日光やインバータータイプの蛍光灯の光に当たらないようにしてください。必要に応じて位置を変えてください。（→ p. 7）

オンキヨー製機器や他メーカー機器の操作ができない

- リモコンが ZONE 2 モードになっています。リモコンで本機を操作する場合は、必ず REMOTE MODE［MAIN］ボタンを押してください。（→ p. 47）
- 入力ソースが正しく選択されているか確認してください。
- 入力表示が正しく設定されているか確認してください（例：TV/CD 端子にカセットテープデッキを接続した場合や、VCR/DVR に DVD レコーダーまたは GAME ゲーム端子に RI ドックを接続した場合）。（→ p. 19）
- オンキヨー製他機器と RI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。RI ケーブルを接続している場合、オーディオ用ピンコードも接続してください（RI ケーブルだけでは正しく連動しません）。（→ p. 17）
- 製品によっては動作しない場合もあります。
- RI 専用リモコンコードを入力したときは、リモコンを本機のリモコン受光部に向けてください。

UP-A1 に接続された iPod/iPhone

音声が出力されない

- iPod/iPhone が再生しているか確認してください。
- iPod/iPhone が正しくドックに接続されているか確認してください。
- UP-A1 が UNIVERSAL PORT に正しく接続されているか確認してください。
- 入力が正しく選択できているか確認してください。
- 接続コードのプラグは奥まで差し込んでください。（→ p. 17）
- iPod/iPhone の接続をやり直してください。

映像が出ない

- iPod/iPhone のビデオ出力がオンになっているか確認してください。
- 本機およびテレビの入力が正しく選択できているか確認してください。
- iPod/iPhone の機種やバージョンによっては映像出力ができないものがあります。

リモコンで iPod/iPhone が操作ができない

- iPod/iPhone が正しくドックに接続されているか確認してください。
- iPod/iPhone をケースに入れている場合は、ケースから出して接続してください。
- iPod/iPhone の表示部にアップルのロゴが表示中は操作できません。
- リモコンが ZONE 2 モードになっています。リモコンで本機や iPod/iPhone を操作する場合は、必ず REMOTE MODE［MAIN］ボタンを押してください。（→ p. 47）
- iPod/iPhone の機種やバージョンによってはリモコンで再生開始できないものがあります。iPod/iPhone で直接再生を開始してください。
- iPod/iPhone をリセットしてみてください。
- iPod/iPhone の機種やバージョンによっては、いくつかのボタンが働かないものがあります。

録音・録画

録音・録画ができない

- 録音機器側で、録音入力切り換えが正しくできているか確認してください。
- 信号がループして本機が損傷することを回避するため、入力信号は同じ端子の IN 端子から OUT 端子に通りません。
- Pure Audio リスニングモードを選択している場合は、映像回路がオフになるため、録画できません。他のリスニングモードを選択してください。

ゾーン 2

音が出ない

- ゾーン 2 で再生できるのは、アナログ入力で接続された機器のみです。

NET/USB 機能

ネットワークサーバーが使用できない

- NETWORK 表示が点滅している場合、本機がホームネットワークに正しく接続できていません。
- ネットワークサーバーが起動しているか確認してください。
- ネットワークサーバーがホームネットワークに正しく接続されているか確認してください。

- ネットワークサーバーが正しく設定されているか確認してください。
- ルータの LAN 側ポートと本機が正しく接続されているか確認してください。
- 本機の「Network Setup」で正しい IP アドレスが割り当てられているか確認してください。(→ p. 44)

ネットワークサーバーで音楽ファイルを再生しているときに音が途切れる

- ネットワークサーバーが動作に必要な条件を満たしているか確認してください。(→ p. 44)
- パソコンをネットワークサーバーにしている場合、サーバーソフトウェア(Windows Media Player 11 など)以外のアプリケーションソフトを終了させてみてください。
- パソコンで大きな容量のファイルをダウンロードしたりコピーしている場合は再生音が途切れる場合があります。

インターネットラジオが聴けない

- 特定のラジオ局だけが聴けない場合は、登録した URL が正しいか、またラジオ局から配信されているフォーマットが本機の対応しているものか確認してください。
- NETWORK 表示が点滅している場合、本機がホームネットワークに正しく接続できていません。
- モデムとルータが正しく接続され、電源が入っているか確認してください。
- 他の機器からインターネットに接続できるか確認してください。できない場合、ネットワークに接続されているすべての機器の電源をオフにし、しばらくしてからオンにしてみてください。
- ルータの LAN 側ポートと本機が正しく接続されているか確認してください。
- 本機の「Network Setup」設定で正しい IP アドレスが割り当てられているか確認してください。(→ p. 44)
- ISP によってはプロキシサーバーを設定する必要があります。
- お使いの ISP がサポートしているルータやモデムを使用しているか確認してください。

インターネットブラウザで本機の情報を表示できない

- インターネットブラウザに本機の IP アドレスが正しく入力されているか確認してください。
- IP アドレスの割り当てに DHCP を使用している場合、本機の IP アドレスが変わっている可能性があります。
- 本機とパソコンの両方が正しくネットワークに接続されているか確認してください。

USB ストレージが表示されない

- USB メモリーや USB ケーブルが本機の USB 端子にしっかりと差し込まれているか確認してください。
- USB ストレージをいったん本機から外し、再度接続してみてください。
- 本機の USB 端子から電源供給を受けるタイプのハードディスクの動作は保証できません。
- セキュリティ機能付きの USB メモリーの動作は保証できません。

その他

待機時消費電力について

- 次の場合は、待機時消費電力が最大 32W になる場合があります。
  1. ユニバーサルポート使用時
  2. 「Network Setup」設定の「**Network Control**」**設定が**「Enable(有効)」の時(→ p. 45)

表示部に表示が出ない

- リスニングモードが Pure Audio になっていると表示が消えます。

操作できない

- オンキヨー製他機器と RI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。RI ケーブルを接続している場合、オーディオ用ピンコードも接続してください(RI ケーブルだけでは正しく連動しません)。(→ p. 17)
- ZONE 2 がオンになっている場合は、RI ケーブルで接続された機器の操作はできません。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約 5 秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

製品の故障により正常に録音・録画できなかったことによって生じた損害(CD レンタル料等)については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音･録画できることを確認の上、録音･録画を行ってください。

本機の電源コードをコンセントから抜くときは、本機の主電源をオフにしてから抜いてください。

主な仕様

アンプ（音声）部

実用最大出力	2ch×130W（6Ω、1kHz、2ch 駆動時、JEITA）
定格出力	2ch×100W（6Ω、全高調波歪率 0.08% 以下、2ch 駆動時、JEITA）
ダイナミックパワー	180W（3Ω、Front） 160W（4Ω、Front） 100W（8Ω、Front）
総合ひずみ率	0.08%（20Hz 〜 20kHz、ハーフパワー）
ダンピングファクター	60（1kHz、8Ω）
入力感度 / インピーダンス	LINE：200mV/47kΩ PHONO MM：2.5mV/47kΩ
RCA 定格出力電圧 / インピーダンス	REC OUT：200mV/2.2kΩ
RCA 最大出力電圧 / インピーダンス	REC OUT：2V/2.2kΩ
PHONO 最大許容入力	60mV（MM 1kHz 0.5%）
周波数特性	5Hz 〜 100kHz/+1dB、-3dB
トーンコントロール最大変化量	Bass：±10dB（50Hz 時） Treble：±10dB（20kHz 時）
SN 比	106dB（LINE、IHF-A） 80dB（PHONO、IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス	4 〜 16Ω

映像部

入力感度・出力電圧 / インピーダンス	1Vp-p/75Ω（コンポジット）

チューナー

■ FM

受信範囲	76.0MHz 〜 90.0MHz

■ AM

受信範囲	522kHz 〜 1629kHz
プリセットチャンネル数	40

総合

電源・電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	230W
無音時消費電力	55W
待機時消費電力	0.1W
最大外形寸法	435（幅）×149.5（高さ）×328（奥行）mm
質量	8.8kg

■ 映像入力

コンポジット	BD/DVD、VCR/DVR、CBL/SAT、GAME

■ 映像出力

コンポジット	MONITOR OUT、VCR/DVR

■ 音声入力

デジタル	OPTICAL：2、COAXIAL：2
アナログ	PHONO 、CD、TV/ TAPE、GAME、CBL/SAT、BD/DVD、VCR/DVR

■ 音声出力

アナログ	TV/ TAPE、VCR/DVR
プリアウト	L/R、SUBWOOFER、ZONE 2 L/R
スピーカー	SPEAKERS A、SPEAKERS B
ヘッドフォン	1（6.3φ）

その他

イーサネット	1
IR IN/OUT	1
USB	1（前面）
ユニバーサルポート	1
RI	1

※ 仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常があるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ **お名前**
- ▶ **お電話番号**
- ▶ **ご住所**
- ▶ **製品名** TX-8050
- ▶ **できるだけ詳しい故障状況**

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。
ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日

ご購入店名： ______________________

Tel. ( )

メモ：

- -

- -

- -

ONKYO®

オンキヨーサウンド＆ビジョン株式会社
〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00～18：00）
（土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

I1107-2

SN 29400696A